

令和4年度

# 決算参考資料

【別冊】

主要施策の成果概要

一般会計編

特別会計編

京都府与謝郡与謝野町



# 主要施策の成果概要

## 【一般会計編:事業評価表】

1	ふるさと納税事業	.....	1
2	京都府北部地域連携都市圏形成推進事業	.....	3
3	自治組織支援事業	.....	5
4	地域協働推進事業	.....	7
5	よさのみらい大学事業	.....	9
6	移住定住支援事業	.....	11
7	地方バス路線運行維持支援事業	.....	13
8	町営バス運行事業	.....	15
9	生活困窮者等支援事業	.....	17
10	介護人材育成・確保支援事業	.....	19
11	障害者生活支援・社会参加事業	.....	21
12	子育て世代包括支援センター事業	.....	25
13	家庭支援事業	.....	27
14	キッズステーション事業	.....	31
15	小規模保育事業	.....	33
16	健康診査事業	.....	35
17	環境活動推進等事業	.....	37
18	自然循環農業推進事業	.....	39
19	農地保全推進事業	.....	41
20	有機物供給施設管理運営事業	.....	43
21	産業振興事業	.....	45
22	織物振興対策事業	.....	47
23	企業立地推進事業	.....	49
24	クアハウス岩滝管理運営事業	.....	51
25	公民館活動推進事業	.....	53
26	高校魅力化推進事業	.....	55
27	地域学校連携事業	.....	57

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	ふるさと納税事業			事業コード	決算書頁	68-69
				2010602	担当課	企画財政課
歳出費目	款 総務費	項 総務管理費	目 企画費		作成責任者	課長 山口 崇
総合計画	分野名	(分野2) 地元を誇りに思い、人の流れを生むまち		分野名	(分野7) 住民が主人公となるまち	
	施策名	(施策1) 魅力の認識及び「よさの者」づくり		施策名	(施策4) 未来を見据えた行財政運営	
根拠法令等	与謝野町ふるさと納税実施要綱			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	寄付先として選ばれる自治体を目指す。
------	--------------------

## 3. 業績指標

指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)						
ふるさと納税返礼品登録数	件	496/600	588/600	/700	/700	700(R8)
ガバメントクラウドファンディング事業件数	件	1/1	2/2	/2	/2	2(R8)
成果指標 実績/目標						
ふるさと納税寄附件数	件	1,907/2,200	2,688/2,200	/2,200	/2,200	2,200(R8)
町内産品(ふるさと納税に係るお礼品)売上総額	千円	13,948/12,000	16,010/12,000	/15,000	/15,000	15,000(R8)
指標で表せない 成果・効果						

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト	R3年度	R4年度	比較	財源内訳	R3年度	R4年度	比較
総事業費	25,243	31,050	5,807	一般財源	25,243	31,050	5,807
事業費	22,416	26,986	4,570	特定財源			
職員人件費	2,827	4,064	1,237	国支出金	0	0	0
(参考) 正職員	0.40	0.70	0.30	府支出金	0	0	0
職員数				地方債	0	0	0
会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	0	0	0
				特定財源 の名称			

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。  
注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	ふるさと納税事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	26,986	R4新規	
事業内容	特産品等のPRIにより本町を応援したい方から寄附金を募る。						

### 令和4年度の取組と成果

主な取組	①ふるさと納税の取組を実施(受付サイト運営費、返礼品代、寄附受領証明書発行等)(報償費・委託料・通信費等)・・・24,200千円 ②企業版ふるさと納税の取組を実施・・・0千円 ③クラウドファンディング型ふるさと納税の取組を実施(受付サイト運営費、返礼品代、寄附受領証明書発行等)(報償費・委託料・通信費等)・・・2,786千円
------	---

### ①ふるさと納税

#### 募集期間

募集期間4月～3月

寄附件数2,447件 寄附総額50,517千円

<過去実績:寄附件数/寄附総額>

H30: 836件/17,593千円 R1: 1,693件/40,560千円

R2: 1,918件/47,296千円 R3: 1,823件/44,420千円

### ②企業版ふるさと納税

募集期間4月～3月

寄附件数3件 寄附総額900千円

### ③クラウドファンディング型ふるさと納税

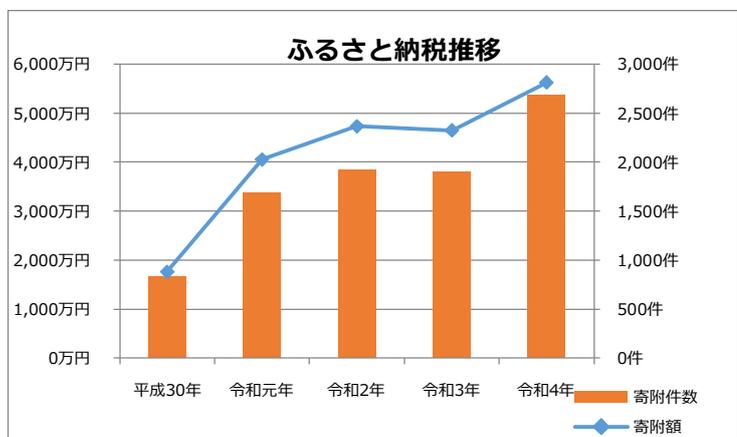
募集期間12月～2月

・プロジェクト名: 与謝野町を元気にするカフェをつくりたい!

寄附件数116件 寄附総額2,690千円

・プロジェクト名: ホップのまち与謝野町でビール造りを、与謝野駅前にビール醸造所をつくりたい!

寄附件数122件 寄附総額3,026千円



--

### 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 80%;">大きく向上した。</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。	○	前年度の水準に留まった。		前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>民間が実施する事業への支援としてクラウドファンディング型ふるさと納税を実施し、具体的な寄附用途を示したふるさと納税としたことで、町への関心や支援の機運を高めることができ、寄附の実績につながった。</p> <p>町民の利便性に直結する事業ではないものの、効率性・有効性については業務委託の実施をすることで一定成果を挙げており、引き続き維持していく。</p>
大きく向上した。									
向上した。	○								
前年度の水準に留まった。									
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和5年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>選ばれる自治体となるために、与謝野町の特色を前面に押し出し、応援したいという共感を得られる事業として、町内外に広く周知していく必要がある。</p> <p>また町の魅力を伝えられるように、返礼品の拡充や見せ方の工夫を行っていくことが求められる。</p>	<p>ふるさと納税寄附額を伸ばすため、関係課(企画財政課、産業観光課、農林環境課、総務課)でプロジェクトチームを立ち上げ、返礼品の拡充や既存返礼品の魅力向上に資する取組みを実施し、寄附額の増加を図る。</p>								

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	京都府北部地域連携都市圏形成推進事業			事業コード	決算書頁	68-69
				2010603	担当課	企画財政課
歳出費目	款 総務費	項 総務管理費	目 企画費		作成責任者	課長 山口 崇
総合計画	分野名	(分野7)住民が主人公となるまち		分野名		
	施策名	(施策4)未来を見据えた行財政運営		施策名		
根拠法令等	京都府北部地域連携都市圏形成推進宣言		関連計画等	第2期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略 第2期京都府北部地域連携都市圏ビジョン		

## 2. 事業の目的

事業目的	京都府北部5市2町で一つの経済・生活圏を形成し、中核市と同等の都市機能を有する持続可能な地域社会の形成を目指す。
------	--

## 3. 業績指標

指 標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	京都府北部5市2町連携事業件数	件	13/13	16/17	/15	/15	15(R7)
			/	/	/	/	(R●)
成果指標 実績/目標	京都府北部地域連携都市圏の人口	万人	27.4/23.9以上	27.0/23.9以上	/23.9以上	/23.9以上	23.9以上(R7)
			/	/	/	/	(R●)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R3年度	R4年度	比較	財源内訳		R3年度	R4年度	比較
	総事業費	4,322	4,625	303	特定財源	一般財源	3,813	4,069	256
	事業費	1,778	1,618	▲ 160		国支出金	509	556	47
	職員人件費	2,544	3,007	463		府支出金	0	0	0
(参考)	正職員	0.36	0.37	0.01		地方債	0	0	0
職員数	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00		その他特定財源	0	0	0
注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計 全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。					特定財源 の名称	地方創生推進交付金			

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	京都府北部地域連携都市圏形成推進事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	1,618	R4新規
事業内容	5市2町相互補完により、「産業・観光・交通、教育、移住・定住、環境・防災、行政運営」分野の連携事業を実施する。					

### 令和4年度の取組と成果

主な取組	①京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会で実施する事業に要する費用の一部を負担(負担金)・・・1,618千円
------	--

事業名		取り組み実績
主 な 連 携 シ ス テ ム の 構 築	京都府中・北部地域の新たな消防広域連携事業	高機能消防指令システム整備施工監理・入札支援、高機能消防指令システム設置工事、消防指令センター改修工事、他
	水道事業の広域化・広域連携事業	京都府水道事業広域的連携等推進協議会(北部圏域)幹事会、次期委託に係る広域連携協議(北部圏域5市2町)、京都水道ランドデザイン改定・公表、他
	産学公連携コンソーシアム(地域連携プラットフォーム)の構築	北近畿コラボスペースの設置・運営開始
	広域連携により専門人材を確保・育成する仕組みづくり	5市2町建設担当課長会議、検討チームの設置
	災害時等相互応援協定の締結・運用	京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会の構成市町による災害時等相互応援に関する協定書の締結、災害時等相互応援に関する標準運用手順書第1編、第2編の制定、第3編協議

事業名		取り組み実績
主な 専門 部会 の 事業	産業部会事業	<p>合同企業説明会 (5/25：京都産業会館ホール／参加企業80社・参加者数延べ46人、内内定者5人)</p> <p>副業・兼業人材マッチング事業 (求人掲載企業29社、応募者数394人、マッチング企業数24社※「海の京都」未来共創ネットワークとの連携(セミナー開催：10/13宮津会場、10/19舞鶴会場))</p> <p>海の京都「食」のオンライン商談会 (2/27～3/8：参加事業者13社、総視聴回数2,111回、総インプレッション数68,078回、商談成立件数3件)</p>
	観光・交通部会事業	<p>海の京都DMO連携実施 (情報発信・プロモーション事業：HP570万PV突破、SNSフォロワー1万8千人突破、デジタルマーケティング事業：旅先納税・海の京都コイン開始、など)</p> <p>持続可能で便利な交通圏域づくり事業(お試し乗車会の実施：49人参加)</p>
	教育部会事業	<p>北近畿自治体合同キャリアガイダンス(オンライン。参加者数29人)</p> <p>自治体DXワークカレッジ講座(全6回。参加延べ人数159人)</p> <p>高等教育機関との連携による教育研究事業 (産学公連携組織視察研修：広島大学、北近畿コラボスペース設置・会員募集)</p>
	移住・定住部会事業	<p>民間プレイヤープロジェクト (まちの人事：企業ヒアリング6回、地域交流会：11回、お試し住宅：現地調査等3回、他)</p> <p>地域Webサイト「たんたんターン」(スマホ対応機能の追加)</p> <p>高校生みらい会議(全7回。圏域内高校9校20人参加。小さなDOの実践：3回)</p>
	環境・防災部会事業	<p>5市2町災害応援協定締結及び標準運用手順書(第1編、第2編)の制定</p> <p>防災・減災研修(7/22 受講者数119人)</p>
	行政運営部会事業	<p>自治体システム標準化にかかる合同勉強会(参加者数180人)</p> <p>男女共同参画にかかる講演会(参加者数70人)</p> <p>合同研修会(技術職員向け、Decidim研修、エリアマネジメントと広域連携講義など)</p>

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価		左記の具体的説明							
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。	○	前年度の水準に留まった。		前年度の水準を下回った。		<p>6つの専門部会では、それぞれの分野における継続事業の推進、アクションプラン実行に向けた検討・協議が進められた。また、連携深化の動きとして、産学公連携コンソーシアムの構築としての北近畿コラボスペースの設置、北部連携の枠組みでの災害時等相互応援に関する協定の締結が実現し、5市2町の個性と特徴を尊重した相互補完型連携の推進と多様な主体との協働による持続可能な圏域づくりに寄与しており、「向上した」と評価。</p>
大きく向上した。									
向上した。	○								
前年度の水準に留まった。									
前年度の水準を下回った。									
<p>事業の課題</p> <p>当該協議会への負担金は、連携事業の推進・拡大に伴い増額傾向にあるところ、町独自で展開する施策・事業と連携事業との連動性を上げることや町単独では実施が困難な施策・事業についてはスケールメリットを活かした連携事業への便乗を図ること、またその成果の可視化が課題である。</p>	<p>令和5年度以降における課題解決に向けた方向性</p> <p>北部連携における取組の方向性、圏域づくりの基本方針、アクションプランの内容、各専門部会、連携深化プロジェクトチームの動きについて関係事業課等と共有しながら、幹事を担う環境・防災部会の運営、事業の推進を図る。</p>								

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	自治組織支援事業			事業コード	決算書頁	68-69
				2010701	担当課	企画財政課
歳出費目	款 総務費	項 総務管理費	目 地域振興費		作成責任者	課長 山口 崇
総合計画	分野名	(分野7)住民が主人公となるまち		分野名		
	施策名	(施策2)協働のまちづくり		施策名		
根拠法令等	与謝野町自治会運営交付金要綱 与謝野町補助金等の交付に関する規則			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	地域コミュニティの充実・強化、住民と行政の協働のまちづくりを実現する。
------	-------------------------------------

## 3. 業績指標

	指 標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	各区長会の開催(全体、代表、各地域区長会)	回	11/12	13/13	/13	/13	13(R8)
			/	/	/	/	(R●)
成果指標 実績/目標	隣組に加入している世帯の割合(自治会加入率)	%	77.5/80	78.2/80	/78	/78	79(R8)
			/	/	/	/	(R●)
指標で表せない 成果・効果	地域における住民と行政との協働のまちづくりの気運の高まり						

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト	R3年度	R4年度	比較	財源内訳	R3年度	R4年度	比較
総事業費	19,477	20,460	983	一般財源	19,477	20,460	983
事業費	17,357	17,349	▲ 8	特定財源	国支出金	0	0
職員人件費	2,120	3,111	991		府支出金	0	0
(参考) 正職員	0.30	0.37	0.07		地方債	0	0
職員数	0.00	0.00	0.00		その他特定財源	0	0
				特定財源 の名称			

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。  
注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計  
全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	自治組織支援事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	17,349	R4新規	
事業内容	自治会に対し自治会運営交付金の交付や区長報償費の支給、自治会活動保険掛金の半額補助などを行う。						
令和4年度の取組と成果							
主な取組	①自治会の活動等に要する費用の一部を支援(交付金)・・・10,031千円						
	②区長報償費の支払(報償費)・・・6,280千円						
	③自治会活動保険掛金の半額を支援(補助金)・・・1,038千円						
①自治会運営交付金の交付 「自治会運営交付金交付要綱」に基づき、自治会活動費、広報配布手数料等について、各区の4月1日現在の人口、世帯、隣組数を基に交付金配分基準表を作成し、年2回に分けて24区に交付した。							
②区長報償費の支払 地域活動及び地方自治の一端を担ってもらっている自治会の中心的な役割である区長(自治会長)24名の活動に対し区長報償費を支払った。(区長連絡協議会長28万円、副会長27万円×2名、区長26万円×21名)							
③自治会活動保険掛金の半額補助 「与謝野町補助金等の交付に関する規則」に基づき、自治会行事における事故等に対する保険について、掛金の半額を補助金として支出した。							
※ 区長連絡協議会(区長会)の開催 町と各自治会、自治会間の連携及び情報共有を図るため各区長会を開催した。(区長連絡協議会(全体区長会)2回、区長連絡協議会(代表区長会)2回、岩滝地域区長会3回、加悦地域区長会3回、野田川地域区長会3回)							

--

### 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 80%;">大きく向上した。</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>自治会活動を支援するため予算の範囲内で自治区運営交付金、区長報償費を支払い、各自治会が加入する自治会活動保険の掛金の半額補助を行った。本事業については自治会運営・活動を維持、継続していくために大きな役割を果たしており、少子高齢化、人口減少が進行する中で自治会活動においてはこれまでの活動水準を維持することができている。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和5年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>人口減少、少子高齢化や定年延長により自治会運営の担い手、後継者不足は更に深刻になると思われる。地域活動、地域コミュニティを持続していくためには、自治会のみならず行政と地域の多様な主体、そして地域住民が連携・協働し「協働のまちづくり」を推進する必要がある。</p>	<p>令和2～4年度にかけて実施した「協働のまちづくり調査事業」の成果を検証しながら、令和5年度では町民と行政がともに主体となり協力してまちづくりを実現するための目標を掲げた「<u>協働のまちづくり指針</u>」を策定する。指針の作成にあたっては地域と行政が「対話の場」を通じて与謝野町として方向性を見出すこととする。</p>								

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	地域協働推進事業			事業コード	決算書頁	68-71
				2010702	担当課	企画財政課
歳出費目	款 総務費	項 総務管理費	目 地域振興費	作成責任者	課長 山口 崇	
総合計画	分野名	(分野7)住民が主人公となるまち		分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	
	施策名	(施策2)協働のまちづくり		施策名	(施策5)文化財の継承と発展	
根拠法令等	与謝野町まちづくり人づくり補助金交付要綱 与謝野町ふるさと応援補助金交付要綱			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	住民自らが住みよい地域づくりを目指し、地域コミュニティの活性化を図る。
------	-------------------------------------

## 3. 業績指標

指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	地域づくり支援補助金活用団体数	団体	28/30	24/30	/30	/30	30(R8)
	大行列の披露	回	0/0	0/0	/0	/0	1(R8)
成果指標 実績/目標	まちづくりに関わったことのある住民の割合	%	未測定	65.7/66	/67	/68	70(R8)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト				財源内訳				
	R3年度	R4年度	比較		R3年度	R4年度	比較	
総事業費	59,446	16,400	▲ 43,046	一般財源	44,746	9,434	▲ 35,312	
	事業費	53,294	11,067		▲ 42,227	国支出金	0	0
	職員人件費	6,152	5,333		▲ 819	府支出金	3,491	3,666
(参考) 職員数	正職員	0.87	0.85	▲ 0.02	地方債	0	0	
	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	11,209	3,300	▲ 7,909
注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。				特定財源 の名称	一般財団法人 自治総合センター コミュニティ助成事業助成金 きょうと連携交付金			

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	地域づくり支援事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	11,047	R4新規
事業内容	地域活動団体に対し、地域づくり活動の伴走支援や補助金交付を行う。					
令和4年度の取組と成果						
主な取組	①自治会等が行う備品購入等に要する費用を支援(コミュニティ補助金)・・・3,300千円			④協働のまちづくり調査事業の報告会の実施		
	②自治会等が行う施設改修等に要する費用を支援(まちづくり人づくり補助金)・・・7,332千円			(報償費等)・・・56千円		
	③自治会等が行う備品購入等に要する費用を支援(ふるさと応援補助金)・・・359千円					
①コミュニティ補助金の交付(2団体)・・・3,300千円 自治総合センターの助成を活用し、備品購入に対して補助金を交付した。						
対象区	交付額	補助実績				
立町区	1,000千円	立町会館内の照明器具、オフィスキッチン、電気ポットなど (除雪機→)				
上山田区	2,300千円	草刈機、簡易テント、パソコン、プロジェクター、除雪機など				
②まちづくり人づくり補助金の交付(18団体)・・・7,332千円 各コミュニティ組織が自主的・主体的に取り組み活動に対する支援として補助金を交付した。						
メニュー	交付団体数	交付額	補助実績			
コミュニティづくり	2団体	141千円	データ版紙芝居、方言集の作成			
コミュニティ施設整備	9団体	5,670千円	トイレや外壁、玄関、駐車場の改修など			
コミュニティ備品整備	7団体	1,521千円	パソコン、エアコン、防災備品の購入など			
③ふるさと応援補助金の交付(2団体)・・・359千円 ふるさと納税を原資とした補助金を、活用意向を示した区に申請内容に応じて補助金を交付した。						
(補助実績)	刈払い機・エンジンブロワー・エアコンの購入					
④協働のまちづくり調査事業の報告会(2/26知遊館あじさいホール)の実施(報償費等)・・・56千円						
○基調講演『対話から豊かな関係をつくる協働のまちづくり』 (講師:福知山公立大学地域経営学部教授 谷口 知弘氏)						
○4地区の事業報告						
○参加者による対話・地域間交流(4地区の地域支援員、24区の区役員、公民館館長・主事、行政職員)						



中事業②	岩滝大名行列保存事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	20	R4新規															
事業内容	岩滝大名行列の保存や継承の活動に対して、支援を行う。																				
令和4年度の実績と成果																					
主な取組	①岩滝大名行列保存会の活動を支援(補助金)・・・20千円																				
	①岩滝大名行列保存会の活動支援(補助金)・・・20千円																				
<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th colspan="3">令和4年度岩滝大名行列保存会 事業報告</th> </tr> <tr> <th>日程</th> <th>内容</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>10月9日</td> <td>用具の虫干し</td> <td>6名参加</td> </tr> <tr> <td>11月14日</td> <td>岩滝大名行列保存会 役員会議</td> <td>令和4年度の総会について</td> </tr> <tr> <td>1月27日</td> <td>岩滝大名行列総会 (書面協議)</td> <td>令和3年度事業報告及び決算報告について 令和4年度事業計画(案)及び予算(案)について</td> </tr> </table>							令和4年度岩滝大名行列保存会 事業報告			日程	内容	備考	10月9日	用具の虫干し	6名参加	11月14日	岩滝大名行列保存会 役員会議	令和4年度の総会について	1月27日	岩滝大名行列総会 (書面協議)	令和3年度事業報告及び決算報告について 令和4年度事業計画(案)及び予算(案)について
令和4年度岩滝大名行列保存会 事業報告																					
日程	内容	備考																			
10月9日	用具の虫干し	6名参加																			
11月14日	岩滝大名行列保存会 役員会議	令和4年度の総会について																			
1月27日	岩滝大名行列総会 (書面協議)	令和3年度事業報告及び決算報告について 令和4年度事業計画(案)及び予算(案)について																			
○将来の大名行列披露に向けて、道具の保全を主とした活動が行われた。																					
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(↑虫干しの様子)</p>																					

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p><b>○地域づくり支援事業</b> 公民館の整備や備品の購入を支援することで、地域活動を行う上での利便性の確保に努めた。令和4年度も例年どおり、地域からの申請に基づいて、適切に補助金の交付を進めた。広報よさのとFacebook、町公式HPにて活用実績などを広報し、広く地域団体の活動を周知していくことができた点は評価できる。また、令和2年度から3カ年事業で実施してきた協働のまちづくり調査事業報告会において、実施4区の取組事例の共有や対話・地域間交流により、地域に合った持続可能な地域運営を考えるきっかけを投げかけることができた。</p> <p><b>○岩滝大名行列保存事業</b> 10年ごとの大規模披露であるが、令和4年度についても開催は延期とし、用具の虫干しなど昨年どおりの事業実施となった。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和5年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p><b>○地域づくり支援事業</b> 年々、地域からの申請に基づく事業費が増加しており、限られた予算の中でどのように事業実施していくのかという課題がある。また、地域と行政との間に、地域協働のビジョンがなく、方向性が共有できていない。</p> <p><b>○岩滝大名行列保存事業</b> 岩滝地域だけのイベントと捉えられがちであることや、当保存会での継承基金が次回の開催で枯渇するため、今後の活動方法についても課題となっている。また、保存会が自走できるような協議も必要となっている。</p>	<p><b>○地域づくり支援事業</b> 予算の範囲内で効果的な事業実施ができる補助金制度の見直しを検討する。 地域と行政との対話に基づく協働のまちづくり指針の策定を目指す。</p> <p><b>○岩滝大名行列保存事業</b> 行列披露に向けた準備、披露後の保存会の体制について協議を進める。 今後は大規模な行列を披露するのではなく、用具の管理や所作の継承などを続けていくような活動方法に転換し、保存会が自走できるような組織体制の構築を目指す。</p>								

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	よさのみらい大学事業			事業コード	決算書頁	70-71
				2010703	担当課	企画財政課
歳出費目	款 総務費	項 総務管理費	目 地域振興費	作成責任者	課長 山口 崇	
総合計画	分野名	(分野7)住民が主人公となるまち		分野名		
	施策名	(施策1)地域人材の育成		施策名		
根拠法令等	よさのみらい大学設置運営要綱		関連計画等	第2期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略		

## 2. 事業の目的

事業目的	自分、地域、まちの未来を描き主体的に行動する「人材」の育成を図る。
------	-----------------------------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	参加者の講座満足度	%	80/100	82.85/100	/100	/100	100(R8)
	よさのみらい大学参加者数(累計)	人	2,102/1,950	2,287/1,950	/2,450	/2,600	3,000(R8)
成果指標 実績/目標	まちづくりに関わったことのある住民の割合	%	未測定	65.7/66	/67	/68	70(R8)
	指標で表せない 成果・効果						

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト	R3年度	R4年度	比較	財源内訳	R3年度	R4年度	比較
総事業費	6,019	7,671	1,652	一般財源	4,776	5,921	1,145
事業費	2,486	3,547	1,061	特定財源	国支出金	1,243	1,750
職員人件費	3,533	4,124	591		府支出金	0	0
(参考) 正職員	0.50	0.85	0.35		地方債	0	0
職員数	0.00	0.00	0.00		その他特定財源	0	0
				特定財源 の名称	(国)地方創生推進交付金		

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。  
注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	よさのみらい大学運営事業【企画】	類型	一般型	中事業事業費(千円)	2,009	R4新規
事業内容	「リアル(会場)とオンライン」、「参加者同士の関係づくり」をキーワードに「自分たちのまちは自分たちでつくる」当事者意識の醸成に資する学びを提供する学び舎としてよさのみらい大学を運営するもの。					

### 令和4年度の取組と成果

主な取組	①リベラルアーツコース及び地域づくり学部の講座を開催(委託料)・・・2,003千円(委託先:一般社団法人 プレイス)
------	--

○リベラルアーツコースの主な成果・・・主に会場をメインとして学びと交流の場を提供することができた。

日付	【リベラルアーツコース】講座名	講師	参加人数	実施形態
9月3日	テーマ「文学」 古文書から学ぶ「海の京都ぶらり丹後ものがたり」	京都府立丹後郷土資料館 資料課 技師 稲穂 将士 氏	29名	会場 録画を放送(KYT)
10月9日	テーマ「医学」 新型コロナウイルスから学ぶウイルスとの共生	京都大学医生物学研究所 准教授・獣医学博士 宮沢 孝幸 氏	48名	会場
12月21日	テーマ「哲学」 哲学と統計学との対話から考える「正しさ」の在り方とは	京都大学文学研究科哲学専修 准教授 大塚 淳 氏	18名	会場

○地域づくり学部の主な成果・・・会場とオンラインを用いて、学びの場と交流の場を提供することができた。また、与謝野町のまちづくりを考える講座では、出し合った意見を総合計画審議会へ提出することができた。

日付	【地域づくり学部】講座名	講師	参加人数	実施形態
9月22日	ローカルフラッグと考える与謝野町のまちづくり ～誇れる地域をみんなでつくろう～	株式会社ローカルフラッグ 代表取締役 濱田 祐太 氏	17名	会場
10月19日				
11月23日				
1月23日	はじめよう国内外の『特別な旅』を 求める人へ丹後のスペシャルな旅づくり	(一社)日本アドベンチャーツーリズム協議会 山下 真輝 氏・加藤 菊緒 氏	29名	オンライン
2月18日				株式会社リユウキュウウチコ 内田 亜由美 氏

中事業②	よさのみらい大学運営事業【商工】	類型	一般型	中事業事業費(千円)	1,538	R4新規
事業内容	町内外の事業者が抱える課題解決のために課題に沿った様々なセミナーやイベントを開催することで意識醸成の喚起を促し、生産性向上や商品・サービスの付加価値向上などビジネスモデルの構築を目指すビジネス学部を運営する。					
令和4年度の取組と成果						
主な取組	①クラウド活用で業務効率化セミナーを開催(委託料、印刷製本費等)・・・555千円					
	②女性のしごと・雇用創出イベントを開催(委託料、印刷製本費)・・・502千円					
	③地域経済分析報告書理解促進のためのワークショップを開催(委託料、印刷製本費等)・・・481千円					
○ビジネス学部の主な成果・・・町内外の企業や女性、起業予定者、地域を担っていく若い世代等を対象に、商工会と連携し地域が抱える課題やニーズに対応した講座を3つのテーマで開催できた。参加者の講座に対する満足度は高い。						
	日付	講座名	講師・企画運営	参加人数	実施形態	
①	2月1日	クラウド活用で業務効率化セミナー	ジャイロ総合コンサルティング株式会社 コンサルタント 大石 幸紀 氏	6名	オンライン・会場	
	2月8日			5名		
②	1月17日	「女性のしごと・雇用創出」 みんなでつくる！未来のはたらきかた	株式会社 ウエダ本社 (utena works)	7名	オンライン・会場	
	2月21日			10名		
③	3月18日	地域経済分析報告書ワークショップ 半径3m以内の地域内経済循環ゲーム もし与謝野町が20人のまちだったら	企画運営: まちの人事企画室 講師: 京都橘大学経済学部 准教授 小山 大介 氏	16名	会場	

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。	○	前年度の水準に留まった。		前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p><b>○リベラルアーツコース、地域づくり学部</b> リベラルアーツコースは、例年どおりの実施となった。地域づくり学部においても例年通りの開催であった。与謝野町のまちづくりを考える講座では、出し合った意見を総合計画審議会へ提出することができた。これは他事業との連携のかたちを示しており、「向上した」と評価できる。</p> <p><b>○ビジネス学部</b> ビジネス学部は、町内外の企業や女性、起業予定者、地域を担っていく若い世代等を対象に、商工会と連携し地域が抱える課題やニーズに対応した講座を開催できた。講座を通して、業務効率化のためにデジタル化の導入をされた事業者や、事業者同士の交流・連携を生むことができたことから、「向上した」と評価できる。</p>
大きく向上した。									
向上した。	○								
前年度の水準に留まった。									
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和5年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p><b>○リベラルアーツコース、地域づくり学部</b> 講座受講者の年齢層としては50～70代が多く、若い世代を巻き込んだ講座展開が課題となった。 この事業は「きっかけづくり」を目的としていることから、成果や効果が見えづらい。</p> <p><b>○ビジネス学部</b> 参加人数が各講座とも少ないため、広報強化の徹底が課題である。</p>	<p><b>○リベラルアーツコース、地域づくり学部</b> 若い世代とも交流できる場づくりのために、地元の高校を巻き込んだ講座を検討する。 成果や効果をより見えやすくするために、よさのみらい大学事業のみで講座を実施するのではなく、他事業との連携を図りながらより効果的な事業実施を検討する。</p> <p><b>○ビジネス学部</b> 広報強化の徹底のために、与謝野町商工会と連携し講座に沿った課題を抱えている事業者の洗い出しを行うとともに、町内に限らず広域的に発信していく。</p>								

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	移住定住支援事業			事業コード	決算書頁	70-71
				2010704	担当課	企画財政課
歳出費目	款 総務費	項 総務管理費	目 地域振興費	作成責任者	課長 山口 崇	
総合計画	分野名	(分野2) 地元を誇りに思い、人の流れを生むまち		分野名		
	施策名	(施策4) まちの魅力・人の魅力が生み出すと謝野町ならではの「移住・定住」の促進		施策名		
根拠法令等	与謝野町地域おこし協力隊設置要綱、与謝野町お試し移住体験住宅事業実施要綱、与謝野町空き家バンク登録奨励金交付要綱、与謝野町体験教育旅行誘致事業補助金交付要綱、与謝野町空き家活用移住促進事業補助金交付要綱			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	移住定住人口の増加を図る
------	--------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	空き家バンク登録物件数	件	15/10	11/10	/10	/10	10(R8)
			/	/	/	/	(R8)
成果指標 実績/目標	町移住関連制度を利用して移住した世帯数	世帯	12/5	19/5	/10	/11	12(R8)
	空き家バンク登録物件成約件数	件	10/6	4/6	/5	/5	5(R8)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト				財源内訳						
	R3年度	R4年度	比較		R3年度	R4年度	比較			
総事業費	14,126	22,436	8,310	一般財源	10,483	14,981	4,498			
	事業費	9,179	14,070		4,891	特定財源	国支出金	798	805	7
	職員人件費	4,947	8,366		3,419		府支出金	2,845	5,450	2,605
(参考)	正職員	0.70	1.40	0.70	地方債	0	0	0		
職員数	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	0	1,200	1,200		
注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。				特定財源 の名称	(国)地方創生推進交付金、(府)きょうと地域連携交付金、(他)地域振興基金					

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

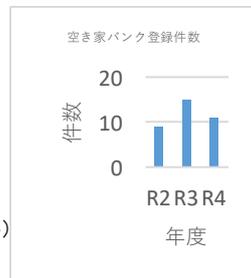
中事業①	移住定住促進事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	9,370	R4新規
事業内容	子育て世帯の移住定住に対し補助金を交付するほか、お試し住宅や休日の移住相談対応窓口(民間業者に委託)を設置する。					

### 令和4年度の取組と成果

主な取組	①空き家バンクへの登録者に対して奨励金を交付(報償費)・・・500千円 ②役場閉庁日の移住相談等窓口を開設(委託料)・・・1,104千円 ③与謝野町へ移住し住居を取得した子育て世帯に対して補助金を交付(補助金)・・・7,100千円
------	---

#### ①空き家バンク登録に対する奨励金

空き家バンクに登録された物件の所有者に対し50千円/件交付。  
令和4年度:10件交付



#### ②役場閉庁日の移住相談等の窓口を民間企業へ委託

委託先:株式会社ローカルフラッグ  
令和4年度:相談件数43件(対面:12件、電話・メール:12件、オンライン:19件)

#### ③与謝野町へ移住し住居を取得した子育て世帯に対する補助金・・・7,100千円

令和4年度:5件交付



中事業②	空き家改修支援事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	4,700	R4新規	
事業内容	本町に移住・定住する目的で空き家バンク登録物件を購入(一部は賃借も対象)する移住者を対象に、改修費用の一部に対し補助金を交付する。						
令和4年度の取組と成果							
主な取組	①空き家の改修等に要する費用の一部を支援(補助金)・・・4,700千円						
	<p>①空き家の改修等に対する補助金(令和4年度)</p> <p>(1)移住促進住宅整備事業:2件  移住促進特別区域内にある登録空き家を移住者が購入又は賃貸し、居住に必要な改修に要する経費の一部を補助(町内業者の改修に限る)  対象経費の2/3(上限1,800千円)</p> <p>(2)空家活用型移住定住促進支援事業:1件  移住促進特別区域外にある登録空き家を移住者が購入又は賃貸し、居住に必要な改修に要する経費の一部を補助(町内業者の改修に限る)  対象経費の1/2(上限900千円)</p> <p>(3)空家流動化促進事業:2件  家財撤去等に要する経費を補助  対象経費の10/10(上限100千円)</p>						

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>令和3年度と比較すると世帯数は増加(7世帯)し、人数は減少(7人)する結果となったが、空き家の活用には寄与することができた。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和5年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>空き家バンクへの登録数が少ない。</p>	<p>令和4年度に実施した空き家調査の結果を踏まえ空き家所有者へ働きかけを行う。</p> <p>空き家バンクの物件に対し、一定の問い合わせがあることから、空き家バンクへの登録を促進する。</p>								

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	地方バス路線運行維持支援事業			事業コード	決算書頁	76-77
				2011601	担当課	企画財政課
歳出費目	款 総務費	項 総務管理費	目 地域交通対策費		作成責任者	課長 山口 崇
総合計画	分野名	(分野6)美しく住みやすい安心安全なまち	分野名			
	施策名	(施策4)誰もが住みやすいと感じられる生活環境の構築	施策名			
根拠法令等	与謝野町地方バス路線運行維持費補助金交付要綱		関連計画等	地域間幹線系統維持確保計画		

## 2. 事業の目的

事業目的	地域住民の日常の移動手段を確保する。
------	--------------------

## 3. 業績指標

指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)						
路線バス乗車人員(幹線系統)	万人	28/29	33/29	/29	/29	29(R8)
路線バス乗車人員(市町単独路線)	万人	3/6	4/6	/6	/6	6(R8)
成果指標 実績/目標		/	/	/	/	(R●)
		/	/	/	/	(R●)
指標で表せない 成果・効果						

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト	R3年度	R4年度	比較	財源内訳	R3年度	R4年度	比較
総事業費	27,642	31,834	4,192	一般財源	27,642	31,834	4,192
事業費	26,582	31,020	4,438	特定財源			
職員人件費	1,060	814	▲ 246	国支出金	0	0	0
(参考) 正職員	0.15	0.15	0.00	府支出金	0	0	0
職員数	0.00	0.00	0.00	地方債	0	0	0
				会計年度任用職員	0	0	0
				その他特定財源	0	0	0
				特定財源 の名称			

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。  
注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

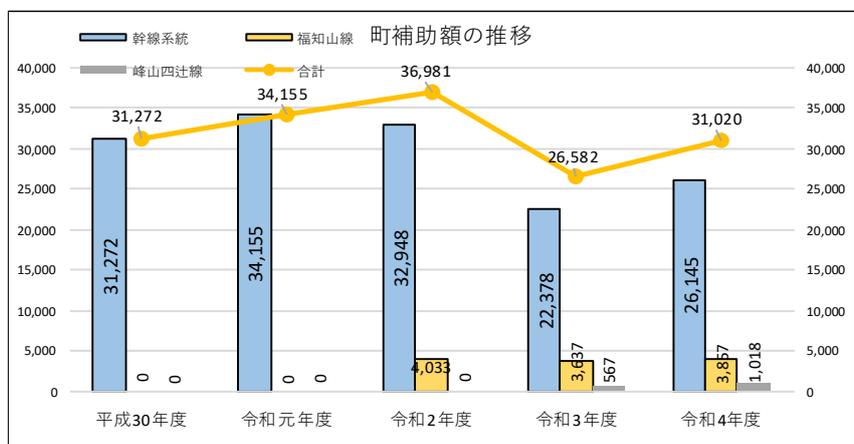
## 5. 事業目的達成のための手段と成果

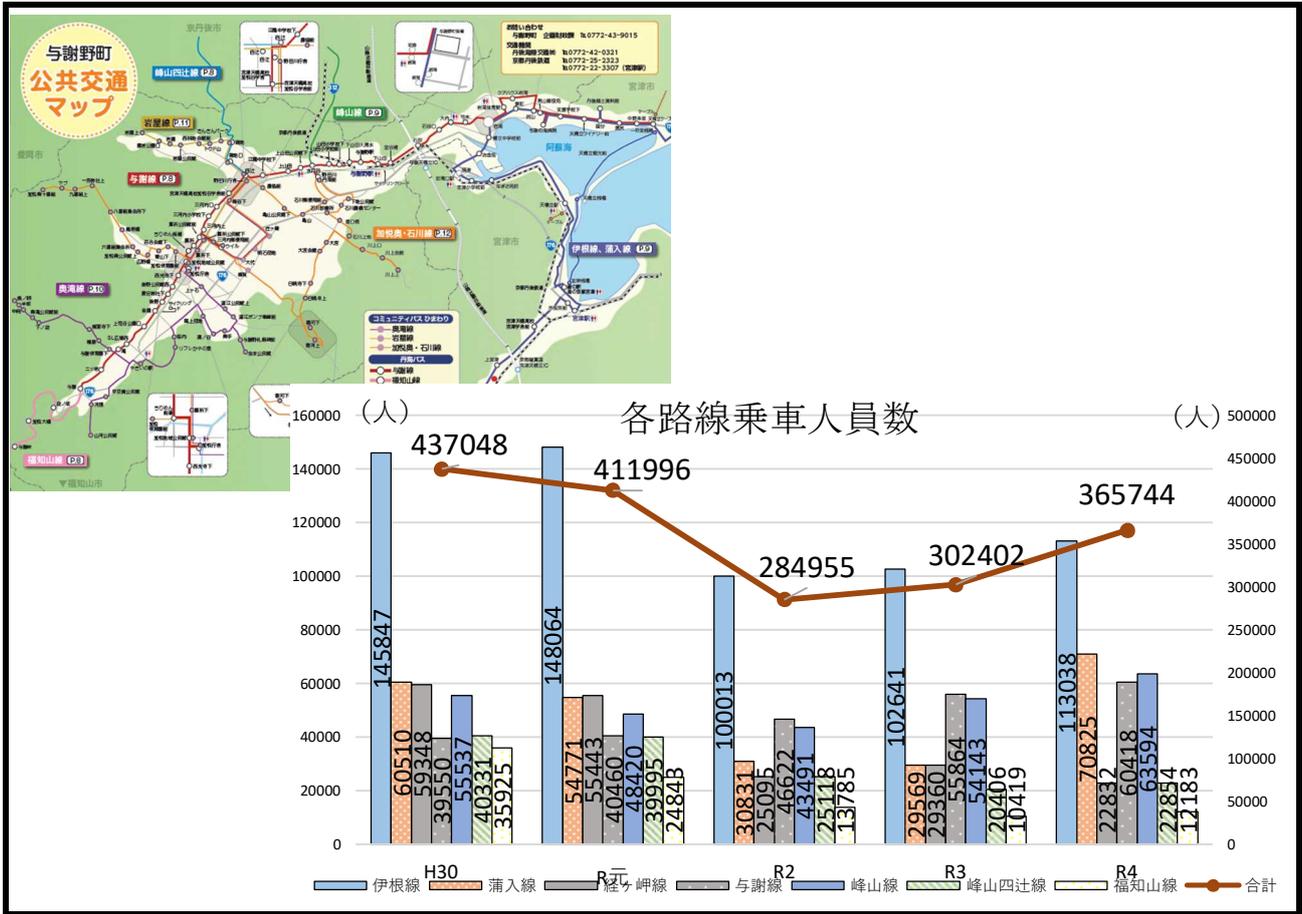
中事業①	生活交通路線維持確保事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	31,020	R4新規	
事業内容	幹線系統路線を運行する民間事業者に、沿線市町と協調して路線維持確保のための補助金を交付する。						

### 令和4年度の取組と成果

主な取組	①地域間幹線系統路線のバス運行に対する支援(補助金)・・・26,145千円 ②市町単独路線のバス運行に対する支援(補助金)・・・・・・・4,875千円
------	--

地域間幹線系統	
伊根線	26,145千円
蒲入線	
経ヶ岬線	
与謝線	
峰山線	
市町単独路線	
福知山線	4,875千円
峰山四辻線	





## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

### 事業目的に対する自己評価

町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、

大きく向上した。	
向上した。	
前年度の水準に留まった。	○
前年度の水準を下回った。	

左記の具体的説明

地方バス路線運行維持支援事業は地域の移動手段として欠かせない事業であり、高校への通学、病院への通院等様々な目的に利用され、年2回のダイヤ改正により他の路線との接続や利用しやすい時間帯に設定するなど利便性の確保に努めた。

令和4年度は、経ヶ岬線の系統を再編し、伊根線、浦入線として路線の競合の解消を図り効率性を向上させた。また、令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響から、コロナ禍前までの水準に回復傾向にあるものの、事業の効率性は前年度水準に留まったといえる。

### 事業の課題

地域幹線系統の利用者数が落ち込んでおり、人口減少・少子高齢化社会である現在、国の補助金要件を満たす利用者数を確保しなければならない。

市町単独路線の福知山線についても、廃線の方向性で進めるとしても、幹線系統も含めた全体の公共交通体系を検討する必要がある。峰山四辻線については、京丹後市との移動手段として引き続き費用対効果を向上させる必要がある。

### 令和5年度以降における課題解決に向けた方向性

地域幹線系統の1つである与謝線を、国の補助金要件を満たす路線として今後も維持させるため、事業者・関係自治体と協力して乗継を考慮した運行ダイヤの調整や交通情報の発信、乗り方教室の開催、モビリティマネジメントの実施など利用促進に努める。

また、地域幹線系統だけでなく、市町単独路線の福知山線や町営バスに変わる乗合交通など他の移動手段についても路線再編など全体の地域交通体系の再構築も視野に入れ、需要に応じた利便性の高い移動手段を検討する。

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	町営バス運行事業			事業コード	決算書頁	76-77
				2011602	担当課	企画財政課
歳出費目	款 総務費	項 総務管理費	目 地域交通対策費		作成責任者	課長 山口 崇
総合計画	分野名	(分野6)美しく住みやすい安心安全なまち		分野名		
	施策名	(施策3)安心・安全に暮らせる地域づくり		施策名		
根拠法令等	道路運送法、与謝野町営バス運行事業に関する条例 与謝野町営バス運行事業に関する条例施行規則			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	路線バス(幹線)から離れた地域に居住している住民の日常生活に必要な交通手段を確保する。
------	---

## 3. 業績指標

指 標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	乗車人員(3路線合計)	人	3,718/5,000	3,932/5,000	/1,200	/1,200	廃止(R8)
			/	/	/	/	(R●)
成果指標 実績/目標	交通不便地区(0地区の維持)	地区	0/0	0/0	/0	/0	0(R8)
			/	/	/	/	(R●)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト				財源内訳					
	R3年度	R4年度	比較		R3年度	R4年度	比較		
総事業費	11,125	9,804	▲ 1,321	一般財源	9,415	9,100	▲ 315		
	事業費	8,722	7,537		▲ 1,185	国支出金	0	0	0
	職員人件費	2,403	2,267		▲ 136	府支出金	0	0	0
(参考) 職員数	正職員	0.31	0.35	0.04	地方債	0	0	0	
	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	1,710	704	▲ 1,006	
注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計 全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。				特定財源 の名称	運賃収入及び回数券販売売上				

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	町営バス運行事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	7,537	R4新規	
事業内容	路線バス(幹線)から離れた地域に町営バスを運行する。						

### 令和4年度の取組と成果

主な取組	①町営バス回数券の払い戻しに係る費用(需要費)・・・20千円
	②丹後海陸交通株式会社への町営バスの運行委託に係る費用(委託料)・・・7,517千円

#### ①町営バス運行

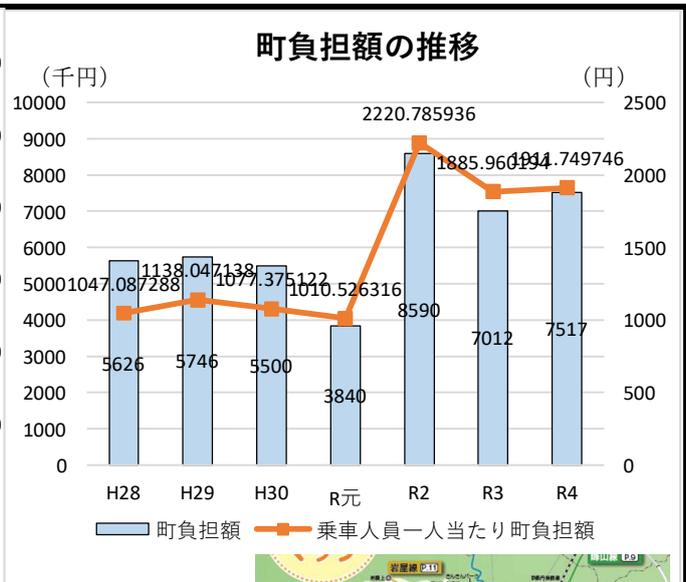
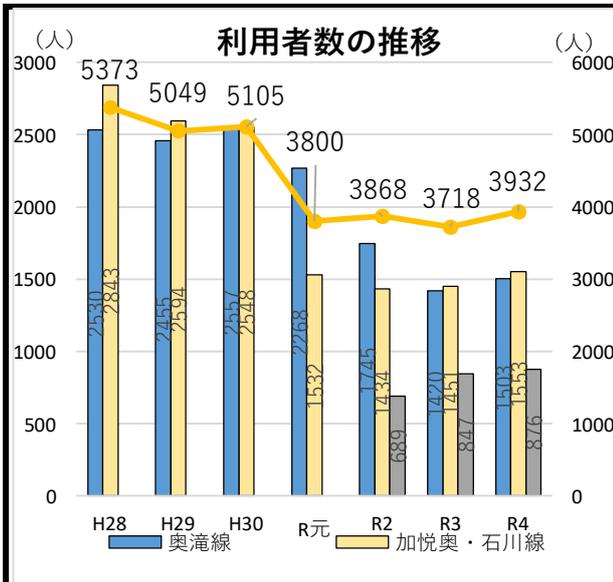
道路運送法第4条に基づく一般旅客自動車運送事業の許可を得た丹後海陸交通株式会社へ運行業務を委託し、定時定路線の一般乗合旅客輸送サービスとして移動手段を確保した。

No.	路線名	路線延長 (km)	運行便数/日	運行日数 (日)	運行便数 (便)	利用者数(人)						
						大人	小人	小学生 未満	身障	平均/日	平均/便	
1	奥滝線	23.1	月・水・金曜日4便	147	588	1,503	1,393	1	0	109	10.22	2.56
2	岩屋線	5.5	月・水・金曜日4便		588	876	569	19	70	218	5.96	1.49
3	加悦奥・石川線	31.1	火・木・土曜日4便	147	588	1,553	1,304	3	1	245	10.56	2.64
合 計				294	1,764	3,932	3,266	23	71	572	13.37	2.23

【運賃】 大人200円、小児100円、幼児無料 ※障害者割引あり

【回数乗車券】 200円券11枚綴2,000円





## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>交通不便地区住民の日常生活に必要な交通手段を確保するため、高齢者や運転免許を保有されない方の昼間の買い物・通院を主な目的とした運行サービスを提供し、利用者からも一定評価を頂いているが、新型コロナウイルス感染症の影響や沿線人口の減少等により利用者が減少している。</p> <p>丹海バスの路線バスや社会福祉協議会の福祉有償運送、タクシーとの棲み分けも勘案し、町営バスとして物理的な限界の中で取り得る最大の方法により事業実施できたと考えている。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
<p>事業の課題</p> <p>利用者の減少により効率性が悪化しているが、一方で満足度の向上、人口減少・少子高齢化社会に合った利便性の高い移動手段が求められている。</p>	<p>令和5年度以降における課題解決に向けた方向性</p> <p>令和5年10月2日より町営バスを一部残して、予約型乗合交通に切り替え実証運行を行い、令和6年度以降での町営バスから予約型乗合交通へ完全切替を目指す。</p>								

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	生活困窮者等支援事業			事業コード	決算書頁	92-93
				3010107	担当課	福祉課
歳出費目	款 民生費	項 社会福祉費	目 社会福祉総務費	作成責任者	課長 田辺茂雄	
総合計画	分野名	(分野3)みんなが自分らしく幸せに生きるまち		分野名		
	施策名	(施策4)誰もが自分らしく生きがいを持って共生できるまちの推進		施策名		
根拠法令等	与謝野町くらしの資金貸付事業運営要綱、与謝野町くらしの資金貸付事業運営基金条例、生活困窮者等自立支援法、与謝野町生活困窮世帯等に属する子どもの学習支援・生活支援事業実施要綱、与謝野町福祉住宅条例			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	生活困窮者等の経済的自立及び生活意欲の促進を図る。
------	---------------------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	ひきこもり等相談・支援者数	人	13/20	19/20	/20	/10	10(R8)
			/	/	/	/	(R●)
成果指標 実績/目標	ひきこもり等居場所数	箇所	2/1	2/2	/2	/2	2(R8)
			/	/	/	/	(R●)
指標で表せない 成果・効果	安心・安全で安定した生活を保障すること、不登校や高校中退の防止、生活リズム等の確立を図ること、ひきこもり状態から脱出できること。						

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト				財源内訳						
	R3年度	R4年度	比較		R3年度	R4年度	比較			
総事業費	6,015	5,365	▲ 650	一般財源	6,015	5,359	▲ 656			
	事業費	2,375	2,370		▲ 5	特定財源	国支出金	0	0	0
	職員人件費	3,640	2,995		▲ 645		府支出金	0	0	0
(参考)	正職員	0.50	0.40	▲ 0.10	地方債	0	0	0		
職員数	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	0	6	6		
注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。				特定財源 の名称	(他)福祉住宅使用料(滞納分)					

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	くらしの資金貸付事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	4	R4新規
事業内容	病気、その他の理由により生活が不安定な世帯に対し、相談を受け付けたり、生活資金の貸付を行う。					
令和4年度の取組と成果						
主な取組	①病気その他の理由で生活の不安定な世帯について相談・貸付、返済依頼通知の送付(需用費、役務費)・・・4千円 ②くらしの資金貸付事業運営基金繰出金(繰出金)・・・0円					
基金事業の実績…貸付件数 22世帯、貸付総額1,470,000円、元利償還額1,810,750円、年度末保有現金繰越額(繰越貸付原資枠)4,885,823円 年度末保有現金額(基金原資残額)の推移 令和元年度末 4,456千円 令和3年度末 4,565千円 令和2年度末 3,405千円 令和4年度末 4,885千円						
中事業②	くらしとひとの支援ネットワーク事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	1,100	R4新規
事業内容	ひきこもり傾向にある方の居場所や生活の支援をNPO法人等に委託するほか、情報共有のための支援会議を行う。					
令和4年度の取組と成果						
主な取組	①居場所・生活支援事業の委託(委託料)・・・1,100千円 ②支援会議の開催・・・0円					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・居場所・生活支援を2団体に委託実施。利用実人数：19人。</li> <li>・支援会議の開催：12回。</li> <li>・コロナ禍により、居場所利用者は少数で、新規利用者はなかったが、継続的に利用し、ひきこもり傾向にある方の生活リズムの見直しや就労に向けての意識づけにつながった。</li> </ul>						

中事業③	生活困窮家庭学習支援事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	1,266	R4新規
事業内容	生活保護世帯の児童・生徒に対する学習、生活支援をNPO法人に委託する他、情報共有のための支援調整会議を行う。					
令和4年度の取組と成果						
主な取組	①生活保護世帯の児童・生徒に対する学習、生活支援等の委託(委託料)・・・1,266千円 ②支援調整会議の開催・・・0円 ・学習支援利用者数(延べ):67人 ・支援調整会議の開催:12回 ・課題のある家庭の児童・生徒が利用することにより、学習支援のみならず日常生活の支援を行い、不登校、高校中退等の防止につながっている。					
中事業④	生活困窮者等福祉住宅事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	0	R4新規
事業内容	生活困窮者やDV・虐待等により一時的又は緊急的に住居を必要とする方に対し、住居を提供する。					
令和4年度の取組と成果						
主な取組	①福祉住宅の管理・・・0円(R4入居者なしのため) 生活困窮者やDV・虐待等により緊急又は一時的に住宅を必要とする方に住居を提供することにより、生活困窮者等の自立促進につながる。 ・R4年度:新規相談・入居者なし					

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		左記の具体的説明 ・くらしの資金貸付事業については、令和元年度末からの新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は貸付が多かったものの、それ以降は、ほぼ例年どおりの貸付件数となっている。 ・生活困窮者等に対して、生活や就労の相談、関係機関との連携支援を行うことにより、困窮状態からの脱却を目指すよう支援できている。
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和5年度以降における課題解決に向けた方向性								
・くらしの資金貸付事業については、貸付要件について具体的に整理をする必要がある。 ・生活困窮者等福祉住宅事業については、住宅の老朽化の問題もあり、事業の在り方について見直す必要がある。	生活困窮者等の自立促進のため、今後も他機関・多職種との連携を図り、安心・安全な生活の支援を継続する。								

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	介護人材育成・確保支援事業			事業コード	決算書頁	94-95
				3010117	担当課	福祉課
歳出費目	款 民生費	項 社会福祉費	目 社会福祉総務費	作成責任者	課長 田辺茂雄	
総合計画	分野名	(分野3) みんなが自分らしく幸せに生きるまち		分野名		
	施策名	(施策1) 健康・福祉を支える人財の育成と確保		施策名		
根拠法令等	与謝野町介護福祉士修学資金の貸与に関する条例 与謝野町外国人介護人材確保のための住宅費支援事業補助金交付要綱		関連計画等	高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画		

## 2. 事業の目的

事業目的	持続可能な福祉人材の確保を図る
------	-----------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	介護福祉士奨学金貸付事業	件	1/2	1/2	/2	/2	2(R8)
	福祉人材支援事業	人	—	4/4	/8	/10	12(R8)
成果指標 実績/目標			/	/	/	/	(R●)
			/	/	/	/	(R●)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R3年度	R4年度	比較	財源内訳		R3年度	R4年度	比較
	総事業費	953	2,666	1,713	特定財源	一般財源	953	2,666	1,713
	事業費	600	846	246		国支出金	0	0	0
	職員人件費	353	1,820	1,467		府支出金	0	0	0
(参考) 職員数	正職員	0.05	0.20	0.15		地方債	0	0	0
	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00		その他特定財源	0	0	0
注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計 全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。					特定財源 の名称				

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	介護福祉士奨学金貸付事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	600	R4新規																
事業内容	本町で介護福祉士業務に従事しようとする方に対し、修学に要する資金を貸与する。																					
令和4年度の取組と成果																						
主な取組	①介護福祉士資格取得のための修学資金を支援(貸付金)・・・600千円																					
<p>介護福祉士専門校に通う2年めの貸付を行った。</p> <p>年間貸付額 600千円(月額50千円) 4半期ごとに振込み</p> <p>町ホームページの他、北部地域の高等学校、舞鶴YMCA専門学校へ募集要領等を送付</p> <p>貸付実績 (千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>貸付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>1</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>1</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table>								年度	件数	貸付額	令和元年度	0	0	令和2年度	0	0	令和3年度	1	600	令和4年度	1	600
年度	件数	貸付額																				
令和元年度	0	0																				
令和2年度	0	0																				
令和3年度	1	600																				
令和4年度	1	600																				

中事業②	福祉人材支援事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	246	R4新規	○
事業内容	外国からの介護人材の確保を行う法人を対象に、外国人が居住する住宅費の一部に対し補助金を交付する。						
令和4年度の実績と成果							
主な取組	①外国人介護人材確保に係る住宅費の一部を支援(補助金)・・・246千円						
<p>介護人材不足の解消を図るため、外国人技能実習生を受け入れた町内2事業所に対し、家賃補助を行った。</p> <p>・虹ヶ丘 2名 補助額: 140千円 (9月～3月) 月10千円×7月×2人=140千円</p> <p>・ユメライフはしだて 2名 補助額: 106千円 (9月～3月・12月～3月) 月10千円×7月=70千円、月10千円×3月+6千円=106千円</p>							

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>奨学金貸付金については、借受者が卒業後町内での就職を希望されず貸付金全額返還となった…「前年度の水準を下回った。」</p> <p>外国人家賃補助については、令和4年度の新規事業であり、4人の外国人の介護人材を確保された事業所の負担軽減のため支援を行った…「向上した。」</p> <p>2事業を平均し、左記とした。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和5年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p><u>○奨学金貸付金</u></p> <p>介護福祉士資格取得のための進学が少ない中、何とか1名の確保をし2年間の貸与をしたが、卒業後地元での就職を希望されず返還となった。繋ぎとめるだけの魅力が地元がないことも一因である。</p> <p><u>○外国人家賃補助</u></p> <p>特に無し</p>	<p><u>○奨学金貸付金</u></p> <p>予算枠一杯借りていただけるよう、学校側へのアプローチに加え、小学生・中学生にも早い段階から福祉についての理解や大切さを伝える取組みを行っていく。</p> <p><u>○外国人家賃補助</u></p> <p>特に無し</p>								

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	障害者生活支援・社会参加事業			事業コード	決算書頁	96-97
				3010205	担当課	福祉課
歳出費目	款 民生費	項 社会福祉費	目 障害福祉費	作成責任者	課長 田辺茂雄	
総合計画	分野名	(分野3)みんなが自分らしく幸せに生きるまち		分野名		
	施策名	(施策4)誰もが自分らしさと生きがいを持って共生できるまちの推進		施策名		
根拠法令等	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成17年法律第123号)			関連計画等	与謝野町障害者基本計画	

## 2. 事業の目的

事業目的	障害者の地域生活支援及び社会参加促進を図る。
------	------------------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	タクシー利用券交付数	件	60/60	52/60	/60	/60	60(R8)
	情報通信機器端末等補助金交付件数	件	13/15	2/5	/2	/3	2(R8)
成果指標 実績/目標	障害者通院交通費補助事業延べ利用人数	人	89/168	86/170	/170	/170	170(R8)
	障害者手帳交付診断書料補助事業延べ利用人数	人	141/160	165/170	/165	/165	165(R8)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト				財源内訳			
	R3年度	R4年度	比較		R3年度	R4年度	比較
総事業費	10,460	10,400	▲ 60	一般財源	10,460	10,379	▲ 81
事業費	7,723	6,634	▲ 1,089	特定財源	国支出金	0	0
職員人件費	2,737	3,766	1,029		府支出金	0	21
(参考) 正職員	0.38	0.57	0.19		地方債	0	0
職員数	0.00	0.00	0.00		その他特定財源	0	0
会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	特定財源 の名称	(府)軽・中等度難聴時支援事業費補助金		

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。  
注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

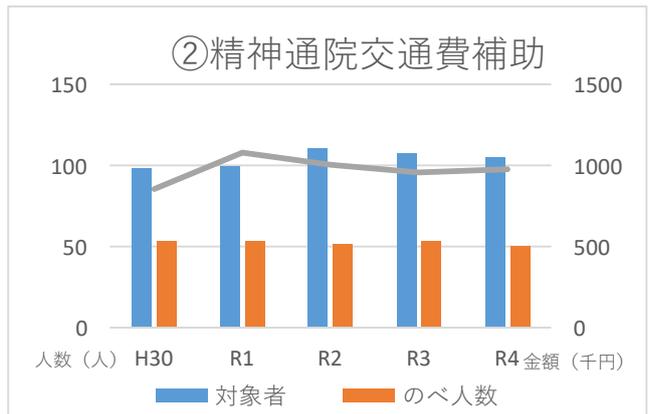
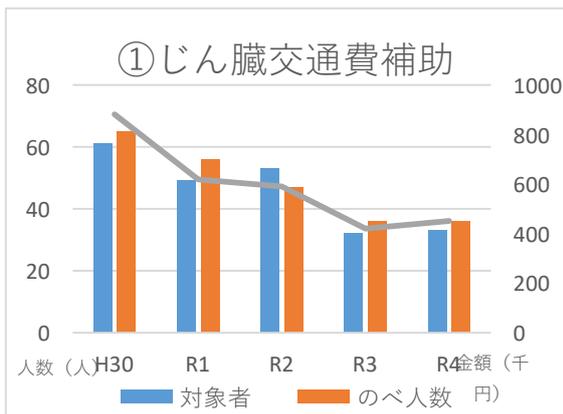
## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	障害者通院交通費補助事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	1,427	R4新規	
事業内容	透析治療及び精神科を受診する障害のある方に対し、通院交通費の一部を支給する。						

### 令和4年度の取組と成果

主な取組	①人工透析のため通院に要する交通費の一部を支援・・・452千円
	②精神科受診のため通院に要する交通費の一部を支援・・・974千円

- ①じん臓の身体障害者手帳所持者が、人工透析のため医療機関に通院する交通費の一部を支給する(年2回申請)  
 ②精神保健福祉手帳及び自立支援医療(精神通院)受給者証を所持している障害者が、精神科に通院する交通費の一部を支給する(年1回申請)  
 ①②につき、交通費は公共交通機関換算とする。また、一か月の支給上限金額は、5,000円とする。



中事業②	障害者手帳交付診断書料補助事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	330	R4新規																								
事業内容	身体障害者手帳及び精神障害者保健福祉手帳の交付を受けるために必要な診断書に要した費用を補助する。																													
令和4年度の取組と成果																														
主な取組	①身体障害者手帳の交付を目的とした診断書料の一部を支援・・・268千円 ②精神障害者保健福祉手帳の交付を目的とした診断書料の一部を支援・・・62千円																													
手帳交付申請者に対して、 診断書料の一部(診断書1通作成につき、上限2,000円)の補助金を支給する。		<table border="1"> <caption>手帳交付数及び補助額</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>手帳交付数 (身体)</th> <th>手帳交付数 (精神)</th> <th>金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>134</td> <td>31</td> <td>268</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>142</td> <td>31</td> <td>296</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>108</td> <td>31</td> <td>208</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>114</td> <td>31</td> <td>226</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>134</td> <td>31</td> <td>296</td> </tr> </tbody> </table>					年度	手帳交付数 (身体)	手帳交付数 (精神)	金額 (千円)	H30	134	31	268	R1	142	31	296	R2	108	31	208	R3	114	31	226	R4	134	31	296
年度	手帳交付数 (身体)	手帳交付数 (精神)	金額 (千円)																											
H30	134	31	268																											
R1	142	31	296																											
R2	108	31	208																											
R3	114	31	226																											
R4	134	31	296																											
①R4は268千円(134件)の支給。前年度比117%の増加。 ②R4は62千円(31件)の支給。前年度比114%の増加。																														
中事業③	自動車改造助成事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	0	R4新規																								
事業内容	身体障害者が就労等に伴い自動車を取得する場合に、その自動車の改造に要する経費に対し助成金を交付する。																													
令和4年度の取組と成果																														
主な取組	①実績なし																													
<p>自動車改造を条件として交付された運転免許を所持する障害者が、就労等に伴い自ら所有し運転する自動車の操向装置及び駆動装置等の一部を改造する必要がある場合に、上限10万円を助成するものである。</p> <p>(ただし、両上肢機能障害1級の運転に必要な改造に要する経費の助成額については、別途町長が決定する)</p> <p>H29に100,000円(1件)支給実績あり。 R4は実績なし。</p>																														
中事業④	小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	0	R4新規																								
事業内容	小児慢性特定疾患医療受診券の交付を受け、在宅療養をしている児童に対し、車いすや特殊寝台等の日常生活用具を給付する。																													
令和4年度の取組と成果																														
主な取組	①実績なし																													
<p>京都府が認定した小児慢性特定疾患児に対して、自立生活支援用具等の日常生活用具を給付することにより、日常生活の便宜を図り、その福祉の増進に資することを目的としている。</p> <p>R4年度実績なし。 H18年度与謝野町合併以降の実績はないが、現在の対象者は14名であり、今後日常生活用具の給付を希望する場合に当事業は必要である。</p>																														

中事業⑤	重度心身障害者福祉タクシー事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	306	R4新規
------	-----------------	----	-----	------------	-----	------

事業内容 外出困難な障害のある方に対し、タクシー利用券を交付し、タクシー料金の一部を助成する。

令和4年度の取組と成果

主な取組 申請者に対して、福祉タクシー利用券(1月に100円券10枚以内)を申請日の属する月から当該年度分を交付する。  
各タクシー等事業所からの福祉タクシー利用券の精算(自動車借上料)・・・268千円

【事業実績】

	R1	R2	R3	R4
決定者(人)	62	67	60	52
利用者(人)	45	36	34	30
利用率	72.58%	53.73%	56.67%	57.69%
利用額(円)	378,500	310,100	309,100	282,400

- ・決定者、利用者ともになだらかに減少している。
- ・特に令和2年～令和4年は、決定者数も15人減少している。(新型コロナウイルス感染拡大が起因している。)
- ・令和3年度に利用者アンケートを実施(58件送付 回収率74.14%)。利用時の行先で最も多いのは病院。次いで買い物でした。利用しなかった人の理由は、「家族等の送迎により機会がなかった」「新型コロナが怖かった」「外出機会がなかった」でした。

中事業⑥	地域活動支援センター事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	4,251	R4新規
------	--------------	----	-----	------------	-------	------

事業内容 「宮津与謝聴覚言語障害者地域活動支援センター」にて、コミュニケーション支援や生活支援などを実施する。

令和4年度の取組と成果

主な取組 ①与謝野町地域活動支援センター事業を実施(委託料)・・・4,251千円

- ・宮津・伊根・与謝野の1市2町で事業実施に向けた協定書を締結し、各市町が社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会と契約を締結。
- ・開催日 週2回(火・金曜日) 10:30～14:30 年間の開催日数96日 /1日利用平均6人
- ・取り組み内容  
室内でのレクリエーション、物づくり(ちぎり絵製作等)、頭の体操等を実施。また外部講師を招き、書道を実施  
物づくりや書道は、12月1日～障害者週間事業の一環で、加悦庁舎ロビーに展示。



↑【障害者週間作品展示】

・利用実績

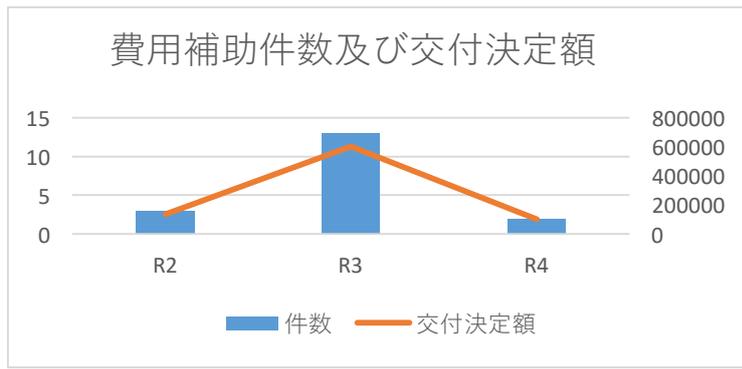
【与謝野町のみ】					
	H30	H31/R1	R2	R3	R4
登録人数	6	7	9	8	11
利用実績	418	442	452	382	450

中事業⑦	視聴覚障害者情報通信機器導入支援事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	253	R4新規
------	--------------------	----	-----	------------	-----	------

事業内容 視聴覚障害児者に対し、情報通信機器等の購入費用を補助する。

令和4年度の取組と成果

主な取組 ①視聴覚障害者情報通信機器端末研修会(委託料)・・・153千円  
②視聴覚障害者が情報通信機器等を導入する際に費用の一部を支援(2件)・・・100千円



中事業⑧	難聴児補聴器給付事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	68	R4新規
事業内容	身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度難聴児に対し、補聴器の購入、修理に必要な費用の一部を補助することにより、難聴児の健やかな成長を支援する。					
令和4年度の取組と成果						
主な取組	①補聴器購入・修理に関する費用の補助・・・68千円					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府軽・中等度難聴児支援事業費補助金を活用し、与謝野町難聴児補聴器給付事業実施要綱に基づき実施。</li> <li>・費用負担は府10/30 町17/30 本人3/30 本人負担額は所得区分によって上限額あり。</li> <li>・対象者は18歳未満の児童で、与謝野町に住所を有し、両耳の張力レベルが原則として30デシベル以上70デシベル未満で、身体障害者手帳の交付の対象とならない者(医師の判断勘案)。所得制限あり。</li> </ul>						

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>障害者手帳交付診断書料補助事業及び障害者通院交通費補助事業については、前年度より支給額増加している。</p> <p>しかしながら、自動車改造助成事業及び小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業については、近年実績がなく、必要性に欠けている又は周知不足のいずれかと思われる。</p> <p>そのため、障害者生活支援・社会参加事業全体として、前年度の水準に留まったと判断する。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和5年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>障害者通院交通費補助事業や重度心身障害者福祉タクシー事業等、対象者が明確に判断でき、毎年申請を要する事業については、対象者に申請案内を送付できている。</p> <p>しかしながら、自動車改造助成事業及び小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業等の毎年申請を要しない事業については、ニーズの把握できない。</p>	<p>自動車改造等の周知できていない事業について、広報をすることが必要である。</p> <p>広報周知方法としては、広報紙やKYTを活用する。</p> <p>また自動車改造については、近隣市町の状況を調査し、対象範囲の拡大も視野に入れ、より使いやすい制度に更新していく。</p>								

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	子育て世代包括支援センター事業			事業コード	決算書頁	108-109
				3020107	担当課	子育て応援課
歳出費目	款 民生費	項 児童福祉費	目 児童福祉総務費	作成責任者	課長 坪倉由貴	
総合計画	分野名	(分野4)つながりで笑顔を未来につむぐまち		分野名		
	施策名	(施策3)地域ぐるみの子育て力の向上		施策名		
根拠法令等	与謝野町子育て世代包括支援センター事業実施要綱		関連計画等	与謝野町子ども・子育て支援事業計画		

## 2. 事業の目的

事業目的	子育て世代が地域で安心して妊娠、出産及び子育てができる環境を目指す。
------	------------------------------------

## 3. 業績指標

指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)		/	/	/	/	(R●)
成果指標 実績/目標		/	/	/	/	(R●)
この町で子育てをしたいと思う親の割合	%	94.6/94.7	94.9/95.0	/95.3	/95.6	96.3(R8)
指標で表せない 成果・効果		/	/	/	/	(R●)

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト	R3年度	R4年度	比較	財源内訳	R3年度	R4年度	比較
総事業費	58,620	39,010	▲ 19,610	一般財源	48,824	36,104	▲ 12,720
事業費	24,205	27,199	2,994	特定財源			
職員人件費	34,415	11,811	▲ 22,604	国支出金	7,543	2,229	▲ 5,314
(参考) 正職員	4.87	2.11	▲ 2.76	府支出金	2,253	677	▲ 1,576
職員数				地方債	0	0	0
会計年度任用職員	0.40	0.09	▲ 0.31	その他特定財源	0	0	0
				特定財源 の名称	母子保健衛生費国庫補助金、出産・子育て応援交付金(国・府)、不妊治療等給付事業助成費補助金(府)、京都版母子健康手帳導入支援補助金(府)		

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。  
注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	ブックスタート事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	180	R4新規
事業内容	乳児を持つ世帯に対し絵本等を配布し、絵本を通じて乳児と保護者が心触れ合うひとときを持つ支援を行う。					
令和4年度の取組と成果						
主な取組	①ブックスタートパック(絵本2冊、布製バッグ)を贈呈(報償費)・・・180千円					
	<p>乳児と保護者の愛着形成を担う取り組みとして、絵本を介して言葉と心を通わせることを応援する。乳児健診前期に絵本と布製バック、前年度アンケートをまとめた冊子をプレゼントし、図書館司書による絵本の読みかきせを行う。ブックスタートパック配布数(R4乳児健診前期受診者)98人、配布率100% アンケート配布数(R4乳児健診後期受診者)89人、回収率91% アンケートの回答から、絵本の活用が82%、絵本の読み聞かせは96%の家庭でされていた。読み聞かせをしている理由として、子どもと触れ合う時間になれる30%、兄弟と一緒に読む18%、楽しいので16%、ブックスタートで絵本を受け取ったから7%であり、ブックスタート事業の目的とする親子の触れ合い愛着形成の一端を担うことが出来ている。</p>					
	 <p>ブックスタートパック</p>					
中事業②	妊娠・出産包括支援事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	25,586	R4新規
事業内容	子育て世代に対し、妊娠・出産、子育て期それぞれにおいて切れ目ない面接や訪問を行うほか、公費による健診を実施する。					
令和4年度の取組と成果						
主な取組	<p>①特定不妊治療等交通費に対する一部を支援(扶助費)・・・325千円      ④母子手帳・妊婦健康診査受診券交付、妊婦健診事業 ②産後ケア事業の実施・・・(委託料)258千円、(報酬)310千円      …(需用費)59千円、(委託料)6,717千円、(扶助費)136千円 ③子育て支援センターを会場とした相談事業の実施・・・(報酬)87千円</p>					

特定不妊治療等交通費助成 14件(実人数12人)特定不妊治療等のためにかかった交通費で1回の治療において上限25,000円(1往復上限5,000円×5回分)を1年度のうち2回申請することができる。妊娠を望む夫婦が経済的負担を軽減し治療に専念できるよう支援。

産後ケア事業(宿泊型)委託先 京都府立医科大学附属北部医療センター 利用者0人  
 (デイサービス型・個別)委託先 みねやま福祉会 利用者0人  
 (デイサービス型・集団)委託先 かや山の家、委託料3,000円/人(請求人数85人分)、23回実施(1回4人まで)、利用実人数47人 延べ80人  
 利用者は助産師等に相談することができたり、子どもを預けて休養をとることができる。産後間もない時期でのうつ等の予防のための事業。

相談事業 YOSANOプレママcafé 開催数9回、参加者数実9人(夫婦参加3組含む)延べ10人 助産師相談日 開催数6回、参加者数実8人延べ9人

保健師相談日 開催数16回、参加者数実96人延べ148人 栄養士相談日 開催数4回、参加者数実9人延べ9人

保健師や栄養士、歯科衛生士、助産師が対応しての相談事業。会場を子育て支援センターとすることで健診場面とは違った雰囲気の中、対象者にとって気軽に相談できる場所として実施している。

母子手帳発行96人、妊婦健診受診券交付104人、1人単価91,930円、受診券利用回数(1人14回)1063回、妊婦健診府外受診者5人

中事業③	ハローベビープロジェクト事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	871	R4新規
事業内容	妊婦とその夫(パートナー)に対し、早期に保健師が接点を持ち、妊娠期から子育ての共通認識を持てる面接を行う。					

#### 令和4年度の取組と成果

- 主な取組
- ①育児用品等を贈呈(報償費)・・・360千円
  - ②離乳食食器と木製スプーンを贈呈(報償費)・・・495千円
  - ③食器の送料(役務費)・・・14千円

妊娠中期から後期もしくは産後2か月までの妊産婦とその夫(パートナー)に対し保健師が面談を実施。妊娠初期から出産、子育てに向けての夫婦それぞれの気持ちを面談を通して言語化してもらい、気持ちの整理、今後の検討事項や利用できるサービスの確認を行い支援計画(ハローベビー計画書)を作成し手交した。子どもの誕生を機に生活が一変するため、特に初めて子どもが生まれる家庭に対しては産後の生活イメージが持ってもらえるように、出産後の心身の変化、生活リズムの変化、夫の役割等を詳しく説明し、安心して育児にのぞめるよう話をすすめた。妊娠中～産後に行う手続きについての一覧を渡し説明。面談当日に育児用品の進呈、生後5か月頃に実施される離乳食教室において離乳食食器等の贈呈を行った。一方的に保健指導するわけではなく対象者に話を聞いてもらうことで対象者の性格や傾向が分かるため、性格や環境から産後に精神的に不安定になる可能性があるかどうかの予測でき早期フォローにつながっている。

面談件数 84組(95.5%)

離乳食食器等の贈呈 90人(100%)

離乳食食器と木製スプーン



## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。	○	前年度の水準に留まった。		前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を取りながら各事業を実施することができた。そのため、相談事業においては利用者の増加につながったと考える。</p>
大きく向上した。									
向上した。	○								
前年度の水準に留まった。									
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和5年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>社会資源の不足(核家族化が進み、近くに支援者がいない家庭も増えてきている。その中で夫の育児休業を勧めたり産後の生活の見通しが持てるよう指導しているが、家事支援などの社会資源が不足しているため十分な支援が得られない)。</p> <p>情報収集の方法が「誰かに聞こう」からネット検索やSNSからの情報収集となっているため、町から正しい情報を発信していく必要がある。</p>	<p>町のラインを活用し、情報発信を行う。</p>								

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	家庭支援事業			事業コード	決算書頁	110-111
				3020110	担当課	子育て応援課
歳出費目	款 民生費	項 児童福祉費	目 児童福祉総務費	作成責任者	課長 坪倉由貴	
総合計画	分野名	(分野4)つながりで笑顔を未来につむぐまち		分野名		
	施策名	(施策2)親子の笑顔の暮らしを応援		施策名		
根拠法令等	児童福祉法、児童虐待防止法		関連計画等	与謝野町子ども子育て支援計画		

## 2. 事業の目的

事業目的	子育てのしやすい地域環境をつくるため、こども・家庭に応じて各種の支援と連携の強化を図る。
------	--

## 3. 業績指標

指 標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	児童・家庭相談対応件数	件	272/350	300/350	/350	/400	450(R8)
	ひとり親家庭住居費・養育費支援件数	件	1/2	1/3	/5	/8	10(R8)
成果指標 実績/目標	ファミリーサポートセンター登録者数	人	10/20	7/30	/50	/50	50(R8)
			/	/	/	/	(R●)
指標で表せない 成果・効果	虐待、子育てに問題のある家庭の解消						

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト				財源内訳						
	R3年度	R4年度	比較		R3年度	R4年度	比較			
総事業費	15,602	15,831	229	一般財源	11,334	11,637	303			
	事業費	9,596	10,283		687	特定財源	国支出金	3,329	3,387	58
	職員人件費	6,006	5,548		▲ 458		府支出金	939	807	▲ 132
(参考) 職員数	0.85	0.84	▲ 0.01	地方債	0	0	0			
会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	0	0	0			
注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。				特定財源 の名称	(国)児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金 (国・府)子ども・子育て支援交付金					

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	児童・家庭相談事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	5,162	R4新規
事業内容	不登校や発達障害、子育てに対する不安等のある家庭を対象とした相談機関を設ける。					
令和4年度の取組と成果						
主な取組	①相談員による児童・保護者のカウンセリングを実施謝礼(報償費)・・・5,160千円					
臨床心理士2名、元教員2名の計4名(R4年度)体制で、学校等から紹介を受けた児童、保護者に対してカウンセリングや指導、発達検査等を行う。 R4年度は延べ300件の相談に応じ、加悦庁舎内や学校訪問にて対応してきた。謝礼は単価(心理士5,300円、元教員3,800円)×時間数						
中事業②	養育困難家庭自立支援(学習・生活支援)事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	1,617	R4新規
事業内容	ひとり親家庭や養育困難家庭の子どもに対し、居場所型・アウトリーチ型での学習や生活支援を実施する。					
令和4年度の取組と成果						
主な取組	①学習・生活支援のNPO法人への委託による実施(委託料)・・・1,617千円 ②子育て支援調整会議(月1回×12回)を関係機関(府・教委・福祉課・子育て応援課・NPO法人)により開催					
ひとり親家庭等の生活困窮世帯や養育困難家庭の子どもに対し、福祉課・教育委員会との連携を図りながら、それぞれの家庭の状況に応じて、居場所型・アウトリーチ型での学習や生活支援を実施する。また、現在支援を実施している家庭や子どもたちへの切れ目のない継続支援のための体制づくりを構築する。また、月1回関係機関(京都府・与謝野町教育委員会・与謝野町福祉課・子育て応援課)での支援調整会議を開催し、課題や潜在的な要支援家庭の把握・支援方法についての検討をする。令和4年度は児童8名に延べ539時間の支援を行った(時間単価3,000円)。						

中事業③	ひとり親福祉事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	780	R4新規																																								
事業内容	母子寡婦福祉連合会对し、活動支援や会員の福利厚生のための補助や貸付を行う。																																													
令和4年度の取組と成果																																														
主な取組	①与謝野町母子寡婦福祉会が実施する活動に要する費用を支援(補助金)・・・180千円 ②与謝野町母子寡婦福祉会が実施するひとり親家庭の生活支援のための小口貸付資金の原資を貸付(貸付金)・・・600千円																																													
<p>ひとり親家庭の親子のふれあいとひとり親家庭相互の交流を深めるための与謝野町母子寡婦福祉会(父子含む)活動事業の推進を図るため、活動費補助金の交付を行う。また、事業内容の広報等を実施して活動内容の周知を図る。また、母子寡婦福祉会が実施するひとり親家庭への小口貸付資金の貸し付けのための原資(資金)の提供を行う。</p> <p>&lt;実施事業&gt;</p> <p>○「ひとり親家庭いきいきふれあい遠足inひらかたパーク」令和4年9月11日(日)実施 (参加者) 母9名 父1名 子15名 寡婦7名 計32名</p> <p>○「サンキャッチャー作り&amp;寄せ植え&amp;ケーキデコ」令和4年11月20日(日)実施 (参加者)母・寡婦 31人 子9人 計40人</p> <p>&lt;小口貸付実績&gt;</p>																																														
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>延べ人数</p> <table border="1"> <caption>延べ人数</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>10</td></tr> <tr><td>H27</td><td>13</td></tr> <tr><td>H28</td><td>12</td></tr> <tr><td>H29</td><td>5</td></tr> <tr><td>H30</td><td>8</td></tr> <tr><td>R1</td><td>10</td></tr> <tr><td>R2</td><td>10</td></tr> <tr><td>R3</td><td>10</td></tr> <tr><td>R4</td><td>9</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>金額(万円)</p> <table border="1"> <caption>金額(万円)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>金額(万円)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>48</td></tr> <tr><td>H27</td><td>48</td></tr> <tr><td>H28</td><td>35</td></tr> <tr><td>H29</td><td>20</td></tr> <tr><td>H30</td><td>28</td></tr> <tr><td>R1</td><td>28</td></tr> <tr><td>R2</td><td>32</td></tr> <tr><td>R3</td><td>35</td></tr> <tr><td>R4</td><td>28</td></tr> </tbody> </table> </div> </div>							年度	人数	H26	10	H27	13	H28	12	H29	5	H30	8	R1	10	R2	10	R3	10	R4	9	年度	金額(万円)	H26	48	H27	48	H28	35	H29	20	H30	28	R1	28	R2	32	R3	35	R4	28
年度	人数																																													
H26	10																																													
H27	13																																													
H28	12																																													
H29	5																																													
H30	8																																													
R1	10																																													
R2	10																																													
R3	10																																													
R4	9																																													
年度	金額(万円)																																													
H26	48																																													
H27	48																																													
H28	35																																													
H29	20																																													
H30	28																																													
R1	28																																													
R2	32																																													
R3	35																																													
R4	28																																													
中事業④	ひとり親家庭住居費支援事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	75	R4新規																																								
事業内容	家賃負担が増大したひとり親家庭に対し、対象者1人につき1回、給付金を支給する。																																													
令和4年度の取組と成果																																														
主な取組	①ひとり親へ住居費(家賃)の一部を支援する(対象者1人15,000円×5ヶ月分)(扶助費)・・・75千円																																													
<p>離婚等による転居、転入、父母の別居等により、家賃の負担を余儀なくされたひとり親家庭の生活基盤の安定のため、公営住宅等の入居を希望したが、入居に至らなかったひとり親家庭に対して、入居を希望した公営住宅等家賃と民間住宅等家賃の差額相当について、ひとり親家庭住居費支援給付金を支給する。支援実施期間中に公営住宅等募集等に関する情報提供等、住居に関する相談に応じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月額15,000円 ・連続した12月を限度とする。</li> <li>・公営住宅等家賃と民間住宅等家賃の差額が、月額15,000円未満である場合の月額給付金は、その差額を超えないものとする。</li> <li>・給付金の支給は、支給対象者1人につき1回限りとする。</li> </ul>																																														

中事業⑤	子育て短期支援事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	28	R4新規
事業内容	保護者の疾病その他の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合に、乳児院等児童養護施設に委託して、一定期間養育等を行うことにより、児童及びその家庭の福祉の向上を図る。					
令和4年度の取組と成果						
主な取組	①一時的養育困難家庭児童の施設等への養育の委託(委託料)・・・28千円					
1家庭の児童1人に対し、5日間のショートステイを 社会福祉法人 みねやま福祉会(乳児院・てらす峰夢)への委託により実施。						
中事業⑥	ファミリーサポートセンター事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	2,500	R4新規
事業内容	ファミリー・サポート・センター事務局を委託し、各種支援事業を行う。					
令和4年度の取組と成果						
主な取組	①ファミリー・サポート・センター事業の委託(委託料)・・・2,500千円					
<p>安心して子育てができる環境を整備し、地域の子育てを支援するため、育児の援助を受けたい「おねがい会員」と育児の援助を行いたい「おまかせ会員」の会員相互組織として、ファミリー・サポート・センターを運営。</p> <p>援助活動の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども園、保育所、幼稚園、小学校等(以下「こども園等」という。)の開始時間まで子どもを預かる。</li> <li>・こども園等の終了時間後子どもを預かる。</li> <li>・こども園等までの子どもの送迎を行う。</li> <li>・子どもが軽度の病気の場合等に子どもを預かる。</li> <li>・冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際、子どもを預かる。</li> <li>・買い物等、外出時に子どもを預かる。</li> </ul> <p>など会員相互の援助活動実施のため、会員登録、マッチング、「おまかせ会員」の研修、相談等をファミリー・サポート・センターのアドバイザーがおこなう。</p> <p>※委託先・・・特定非営利活動法人まるっと丹青</p>						

中事業⑦	ひとり親家庭養育費確保支援事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	121	R4新規
事業内容	ひとり親家庭に対し、養育費に関する公正証書等の作成に要する経費を補助する。					
令和4年度の取組と成果						
主な取組	①養育費の取決めに要した公正証書等作成手数料等を補助(補助金)・・・121千円					
<p>養育費の取決めに要した経費のうち、弁護士に依頼した公正証書等作成手数料、公証人手数料、家庭裁判所の調停申立てに要する収入印紙代及び郵便切手代について、50,000円を上限とし、補助する。</p> <p>令和4年度対象者・・・3名</p>						

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>「子育て世代包括支援センター事業」を妊娠・出産期、乳幼児期をケアするものと位置づけるならば、「家庭支援事業」はさらに成長期の子育てについて福祉の立場から支援していくもので、令和3年度に創設したひとり親家庭住居費支援事業、ファミリーサポートセンター事業、ひとり親家庭養育費確保支援事業を継続実施するなど、ここ数年でその基盤整備ができつつある。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和5年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>児童・家庭相談事業・養育困難家庭自立支援(学習・生活支援)事業は学校や利用者から信頼され、有効に機能しているが、今後相談員・指導者の担い手不足が懸念される。その他の事業は利用者が少なく、特定の方のみ利用されているものもある。個々の特別なニーズに合わせるという側面があるので、利用が一部に限られる面はあるが、より広報をしていく必要がある</p>	<p>各種媒体を利用して各事業の広報を行う。また、利用されにくい内容がある場合は事業内容の精査を行う。</p> <p>担い手不足については退職教職員をあたるとの他、それらの方々による学習支援団体の組織化まで模索する。</p>								

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	キッズステーション事業			事業コード	決算書頁	118-119
				3020213	担当課	子育て応援課
歳出費目	款 民生費	項 児童福祉費	目 児童福祉施設費	作成責任者	課長 坪倉由貴	
総合計画	分野名	(分野4)つながりで笑顔を未来につむぐまち		分野名		
	施策名	(施策3)地域ぐるみの子育て力の向上		施策名		
根拠法令等	与謝野町地域キッズステーション運営事業費補助金交付要綱		関連計画等	与謝野町子ども子育て支援事業計画		

## 2. 事業の目的

事業目的	子どもたちの地域での居場所をつくり、子ども達の健やかな成長を支援する。
------	-------------------------------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	ステーション設置数	箇所	3/4	5/4	/5	/6	7(R8)
	ステーション利用者数	人	1099/500	1828/500	/600	/700	800(R8)
成果指標 実績/目標			/	/	/	/	(R●)
			/	/	/	/	(R●)
指標で表せない 成果・効果	保護者から、こどもの居場所として、安心して利用できるいった声をいただいている。 地域の事業者や中・高生との連携等、事業へのプラス要素が生まれつつある。						

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R3年度	R4年度	比較	財源内訳		R3年度	R4年度	比較
	総事業費	1,635	2,821	1,186	特定財源	一般財源	1,171	2,101	930
	事業費	928	2,014	1,086		国支出金	464	720	256
	職員人件費	707	807	100		府支出金	0	0	0
(参考) 正職員	0.10	0.10	0.00	地方債		0	0	0	
職員数	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00		その他特定財源	0	0	0
注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。					特定財源 の名称	(国)デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)			

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	キッズステーション事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	2,014	R4新規	
事業内容	地域において子どもたちの居場所づくりを行う団体等を支援する。						
令和4年度の取組と成果							
主な取組	①キッズステーション運営を支援(補助金)・・・2,015千円						
<ul style="list-style-type: none"> <li>●岩屋キッズステーション(実施主体:岩屋区、実施場所:岩屋地区公民館) 実施期間:学校長期休暇期間中(9:00~17:00) 内 容:あそび、宿題、映画上映、アクセサリづくりなど、子ども達が自由に利用できる地域における安全・安心な居場所の提供 R4実績:補助金額 313千円、利用人数延べ606人(春休み8日182人、夏休み25日375人、冬休み6日49人)</li> <li>●後野キッズステーション(実施主体:旧後野公会堂管理組合、実施場所:旧後野公会堂) 実施期間:R4.4.6~R5.3.22(毎週水曜日) 内 容:後野区在住のカナダ人 デラ・ポーマン氏を講師に、楽しみながら英語に触れあうことを目的とした「英会話ふれあい教室」を実施 R4実績:補助金額 600千円、実施日数45日間、利用人数延べ480人</li> <li>●アドキッズステーション(実施主体:海の京都アドラー、実施場所:男山地区) 実施期間:夏休み期間(10:00~15:00) 内 容:食と木育を中心に、自然体験を織り交ぜた発見や学びの場を提供する。 R4実績:補助金額 250千円、実施日数7日間、利用人数 延べ28人</li> <li>●キッズステーションにこちゃん(実施主体:わくわく広場~ともえ~、実施場所:下野町集会所、やすら苑地域交流室) 実施期間:R4.10.26~R5.3.31(毎週 月・水曜日) 内 容:加悦小学校の児童を対象に、下校後の子どもたちの安心・安全な居場所として見守り事業等を実施。 R4実績:補助金額 450千円、実施日数41日間、利用人数 延べ480人</li> <li>●幾地キッズステーション(実施主体:幾地区、実施場所:幾地区公民館) 実施期間:学校長期休暇期間中(9:00~17:00) 内 容:学校休暇期間中の子ども達が自由に利用できる地域における安全・安心な居場所の提供 R4実績:補助金額 164千円、利用人数延べ99人(冬休み6日31人、春休み5日68人)</li> </ul>							

- キッズステーションひより(実施主体:与謝郡福祉会、実施場所:岩滝コミュニティセンター)  
 実施期間:R5.1.6~R5.3.31(毎週 月~金 祝日、学校休暇期間を除く)  
 内 容:岩滝小学校の児童を対象に、下校後のこどもたちの安心・安全な居場所として見守り事業等を実施。  
 R4実績:補助金額 238千円、実施日数23日間、利用人数 延べ23人

公民館で遊んだり学習したりする子どもたち



木工教室の様子



川遊びをする子どもたち



英会話教室の様子



## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

### 事業目的に対する自己評価

町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、

大きく向上した。	
向上した。	○
前年度の水準に留まった。	
前年度の水準を下回った。	

左記の具体的説明

地域におけるこどもたちの安心・安全な居場所として、これまでのステーションに加え、新たに3箇所のステーションが、地域や団体の自発的に設置により加わった。

利用者がステーションを選択できる環境が整いつつあり、利用者も増加している。

### 事業の課題

設置箇所が増えることにより、子どもの居場所確保は拡充され、町独自の子育て支援事業として継続は必要と考えるが、補助割合10/10の町単独事業であり、支出増を懸念している。

### 令和5年度以降における課題解決に向けた方向性

担当課として、旧町単位に3箇所程度に設置が望ましいと考えている。想定を超える設置となった場合の補助額の段階的な見直し、また1学校区に集中している開設時間が重複している場合等における、一定のルール設定を行い、各地域におけるステーションの均衡化を図る。

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	小規模保育事業			事業コード	決算書頁	118-119
				3020214	担当課	子育て応援課
歳出費目	款 民生費	項 児童福祉費	目 児童福祉施設費	作成責任者	課長 坪倉由貴	
総合計画	分野名	(分野4)つながりで笑顔を未来につむぐまち		分野名		
	施策名	(施策2)親子の笑顔の暮らしを応援		施策名		
根拠法令等	子ども・子育て支援法		関連計画等	与謝野町子ども子育て支援事業計画		

## 2. 事業の目的

事業目的	保育ニーズが多い低年齢児の受け皿確保を目的とする。
------	---------------------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	利用者数	人	6/12	13/12	/10	/12	19(R8)
			/	/	/	/	(R●)
成果指標 実績/目標	0～2歳児の待機児童数	人	0/0	0/0	0/0	0/0	0(R8)
			/	/	/	/	(R●)
指標で表せない 成果・効果	町内における0～2歳児の待機児童の解消						

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R3年度	R4年度	比較	財源内訳		R3年度	R4年度	比較
(参考)	総事業費	2,273	24,506	22,233	特定財源	一般財源	1,414	7,039	5,625
	事業費	1,181	23,692	22,511		国支出金	629	12,846	12,217
	職員人件費	1,092	814	▲ 278		府支出金	230	4,621	4,391
正職員	0.00	0.15	0.15	地方債		0	0	0	
職員数	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00		その他特定財源	0	0	0
注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。					特定財源の名称	(国・府)子どものための教育・保育給付交付金			

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	小規模保育事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	23,692	R4新規	
事業内容	0～2歳児に対し、家庭的な雰囲気のもとで、きめ細かな保育を提供する。						

### 令和4年度の取組と成果

主な取組	①小規模保育事業者に地域型保育給付費を給付(扶助費)・・・23,692千円
------	---------------------------------------

#### ①地域型保育給付費の支払い・・・23,692千円

小規模保育事業の実施者である小規模保育園こどもの森に対して地域型保育給付費を支払う。

地域型保育給付費＝公定価格(国基準)－利用者負担額(町基準)

支給頻度:毎月

利用実績:13人(実人数)【定員:12人】



--	--

**6. 担当課による自己評価及び今後の方向性**

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">大きく向上した。</td> <td style="width: 50px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">前年度の水準に留まった。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p style="margin-top: 10px;">町立こども園・保育所における低年齢児の保育ニーズは年々増加傾向にあり、小規模保育事業はその2歳児以下の保育ニーズに応えるものである。</p> <p>また、町立こども園・保育所は入園基準が生後10ヶ月～のところ、小規模保育園こどもの森では、生後2ヶ月～と早期からの入園希望者の受け皿となっている。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
<p>事業の課題</p> <p style="margin-top: 10px;">利用実績として計13人の利用があり(定員12人)、特に町立施設での受け入れをしていない10ヶ月未満児の利用について需要があり、利用状況に応じて、今後は定員を19人までとするのか調整する必要がある。</p>	<p>令和5年度以降における課題解決に向けた方向性</p> <p style="margin-top: 10px;">当課での利用調整の中で対応すると共に、今後町報などの広報媒体等での啓発を進める。</p>								

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	健康診査事業			事業コード	決算書頁	122-123
				4010202	担当課	保健課
歳出費目	款 衛生費	項 保健衛生費	目 予防費	作成責任者	課長 矢野彰男	
総合計画	分野名	(分野3)みんなが自分らしく幸せに生きるまち		分野名		
	施策名	(施策2)「元気な心と体づくり」の推進		施策名		
根拠法令等	特定健診(生活保護受給者)がん検診・健康増進法、後期高齢者健診(75歳以上)：高齢者医療確保法 京都府後期高齢者医療広域連合長寿・健康増進事業費補助金交付要綱			関連計画等	与謝野町健康増進計画(第3次)	

## 2. 事業の目的

事業目的	健診(検診)受診者を増やし、疾病の早期発見につなげることを目指す。
------	-----------------------------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	がん検診受診率(肺・胃・大腸・子宮・乳がん検診の平均値)	%	22.6/24	22.3/24	/50	/50	50(R8)
			/	/	/	/	(R●)
成果指標 実績/目標	精密検査受診率(肺・胃・大腸・子宮・乳がん検診の平均値)	%	86.96/90	79.6/90	/95	/95	100(R8)
			/	/	/	/	(R●)
指標で表せない 成果・効果	人間ドック助成事業については、疾病の早期発見、早期治療により健康寿命の延伸や医療費の抑制が期待できるが指標など数値として表すことは困難である。						

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト				財源内訳						
	R3年度	R4年度	比較		R3年度	R4年度	比較			
総事業費	52,383	56,798	4,415	一般財源	33,669	51,816	18,147			
	事業費	44,963	44,908		▲ 55	特定財源	国支出金	0	0	0
	職員人件費	7,420	11,890		4,470		府支出金	15,418	621	▲ 14,797
(参考)	正職員	1.05	1.79	0.74	地方債	0	0	0		
職員数	会計年度任用職員	0.00	1.00	1.00	その他特定財源	3,296	4,361	1,065		
注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。				特定財源 の名称	京都府健康増進事業費等補助金 後期高齢者医療保健事業補助金 長寿・健康増進事業補助金					

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	特定健診受診推進事業	類型	義務型	中事業事業費(千円)	7,398	R4新規																												
事業内容	40歳以上の生活保護受給者及び後期高齢者医療受給者に対し、自己負担無料、日曜日健診、会場までの送迎がある特定健診を実施する。																																	
令和4年度の取組と成果																																		
主な取組	①特定健診(生活保護受給者)、後期高齢者健診を実施、申込書配布から健診結果通知まで・・・7,398千円																																	
	<p>特定健診(生保)と後期高齢者健診の受診率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>特定健診(生保)</th> <th>後期高齢者健診(生保)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>8.2</td><td>23.6</td></tr> <tr><td>H28</td><td>7.1</td><td>23.9</td></tr> <tr><td>H29</td><td>11.6</td><td>24.8</td></tr> <tr><td>H30</td><td>11.3</td><td>24.8</td></tr> <tr><td>R1</td><td>8.9</td><td>24.6</td></tr> <tr><td>R2</td><td>5.7</td><td>23.2</td></tr> <tr><td>R3</td><td>5.8</td><td>22.1</td></tr> <tr><td>R4</td><td>9.8</td><td>25.8</td></tr> </tbody> </table>			年度	特定健診(生保)	後期高齢者健診(生保)	H27	8.2	23.6	H28	7.1	23.9	H29	11.6	24.8	H30	11.3	24.8	R1	8.9	24.6	R2	5.7	23.2	R3	5.8	22.1	R4	9.8	25.8	<p>特定健診(生保)及び後期高齢者健診の受診率は、R4年度は増加に転じR1のコロナ禍以前より高かった。対象者は減り、受診者が増えたことも要因である。</p>			
年度	特定健診(生保)	後期高齢者健診(生保)																																
H27	8.2	23.6																																
H28	7.1	23.9																																
H29	11.6	24.8																																
H30	11.3	24.8																																
R1	8.9	24.6																																
R2	5.7	23.2																																
R3	5.8	22.1																																
R4	9.8	25.8																																
中事業②	がん検診受診推進事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	35,643	R4新規																												
事業内容	40歳以上の住民(子宮がん検診は20歳以上)に対し、自己負担無料、日曜日健診、会場までの送迎があるがん検診(肺・胃・大腸・乳・子宮)を実施する。																																	
令和4年度の取組と成果																																		
主な取組	①子宮がん検診(個別検診)の実施、受診券配布から検診実施まで・・・2,940千円 ②各種がん検診(集団健診)の実施、申込書の配布から検診結果処理まで・・・32,703千円																																	

＜各がん検診の受診率(%)と精密検査受診率(%)＞



凡例  
■ 受診率 — 精密検査受診率

中事業③	人間ドック受診推進事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	1,868	R4新規
------	-------------	----	-----	------------	-------	------

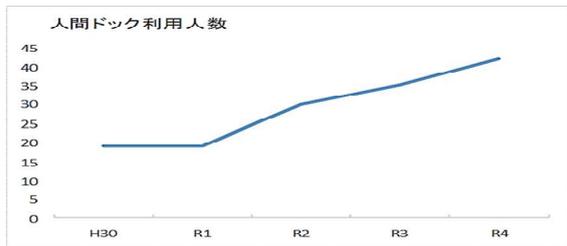
事業内容	後期高齢者医療制度被保険者に対し、健診費用の一部を支援する。
------	--------------------------------

令和4年度の取組と成果

主な取組	①人間ドック検査費用の一部を負担・・・1,868千円
------	----------------------------

町が人間ドック検査費用の一部を負担することで、利用者は基本健診費用の1割を、オプション費用の5割をそれぞれ負担し利用できる。

人間ドック利用者数		R1	R2	R3	R4
年度	H30	19	30	35	42
人数(人)					
人間ドック受診率		R1	R2	R3	R4
年度	H30	0.68	1.08	1.22	1.65
受診率(%)					
人間ドック実績額		R1	R2	R3	R4
H30		1,067,106	1,365,875	1,574,422	1,867,629



6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価

町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、

大きく向上した。	
向上した。	
前年度の水準に留まった。	○
前年度の水準を下回った。	

左記の具体的説明

＜がん検診受診推進事業＞

R2～3年のコロナ禍の影響が継続していることや住民健診の受診控えの傾向がみられること、また、コロナ感染拡大に配慮し、受診者数調整をするため、未申込者へ個別通知による受診勧奨を実施しなかったことにより、受診率については、増加した検診もあるが平均するとわずかに低下した。また、精密検査受診率については、例年どおり未受診者に対して、再度個別通知による受診勧奨を実施したが、受診率は、下がった。

＜人間ドック受診推進事業＞

受診者数が増加したことにより、受診率も増加した。

事業の課題

＜がん検診受診推進事業＞

受診率向上については、ウイズコロナの状況の中で未受診者と未申込者への個別通知による受診勧奨を効果的に実施できるかが課題。精密検査受診率向上については、連続して要精密検査者になる方に対する受診勧奨や大腸ファイバーなど精密検査方法に心身の負担を感じて受診しない方に対する受診勧奨をいかに効果的に行うかが課題である。

＜人間ドック受診推進事業＞

人間ドック受診結果から、疾病の早期発見・早期受診・予防につながるような保健指導を効果的かつ継続的に実施していくことが課題

令和5年度以降における課題解決に向けた方向性

＜がん検診受診推進事業＞

申込書送付後に健診申込状況を確認、未申込者への受診勧奨通知を実施しするなど受診率が向上するような取り組みをする。

精密検査未受診者に対しては、個別に受診勧奨するなどより精密検査受診率が向上するような取り組みをする。

＜人間ドック受診推進事業＞

疾病の早期発見・早期治療、健診の継続受診の促進につながるよう、R4年度から開始した次年度以降継続的な受診につながるよう個別通知による勧奨を5年度以降も継続して取り組みむこと、また、結果のデータ分析をもとに効果的な保健指導につながるような情報提供も合わせて実施する。

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	環境活動推進等事業			事業コード	決算書頁	124-125
				4010303	担当課	農林環境課
歳出費目	款 衛生費	項 保健衛生費	目 環境衛生費	作成責任者	課長 三田大智	
総合計画	分野名	(分野6)美しく住みやすい安心安全なまち		分野名	(分野6)美しく住みやすい安心安全なまち	
	施策名	(施策1)自然環境保全と循環型社会の構築		施策名	(施策1)自然環境保全と循環型社会の構築	
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法) 美しく豊かな阿蘇海をつくり未来へつなぐ条例		関連計画等	阿蘇海流域ビジョン		

## 2. 事業の目的

事業目的	環境保全・環境美化意識の向上を図る。
------	--------------------

## 3. 業績指標

	指 標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	阿蘇海等環境改善啓発ポスターへの参加校数	校	6/6	6/6	/6	/6	6(R8)
	委員会活動への協力者(サポーター)の増	人	0/20	0/20	/20	/20	20(R8)
成果指標 実績/目標	野田川の水質(BOD)の向上	mg/L	0.9/2.0	0.6/2.0	/2.0	/2.0	2.0(R8)
	指標で表せない 成果・効果						

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト	R3年度	R4年度	比較	財源内訳	R3年度	R4年度	比較
総事業費	3,064	8,123	5,059	一般財源	2,914	7,973	5,059
事業費	1,580	1,730	150	特定財源			
職員人件費	1,484	6,393	4,909	国支出金	0	0	0
(参考) 正職員	0.21	0.81	0.60	府支出金	150	150	0
職員数	0.00	0.00	0.00	地方債	0	0	0
				会計年度任用職員	0	0	0
				その他特定財源	0	0	0
				特定財源 の名称	府)海岸漂着物補助金		

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。  
注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計  
全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	阿蘇海等環境づくり事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	1,243	R4新規
事業内容	阿蘇海等への環境改善啓発を行うほか、区が行う清掃に対し補助金を交付する。					

### 令和4年度の取組と成果

- ①一斉清掃、クリーン作戦時の車両借上に要する費用の一部を支援(補助金)・・・974千円  
 ②野田川及び支流の水質調査を実施(委託料)・・・76千円  
 ③岩滝地区の海岸清掃を浜町区に委託し実施(委託料)・・・150千円 ④阿蘇海ポスターコンクールを実施(報償費、委託料等)・・・45千円



・浜町区岩滝地区海岸清掃(年3回実施)

年度	延べ人数	回収量t
R4年度	264人	3.0
R3年度	258人	10.4
R2年度	244人	7.3
R1年度	218人	5.1



○24区の協力のもと実施

・春の一斉清掃(車両借上の補助)

年度	補助区	補助額千円
R4年度	20区	974
R3年度	19区	900
R2年度	19区	815
R1年度	20区	851

・秋のクリーン作戦

年度	参加人数	回収ごみ量
R4年度	2,177人	430kg
R3年度	1,900人	320kg
R2年度	1,600人	490kg
R1年度	2,300人	630kg

中事業②	よさの百年の暮らし委員会事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	487	R4新規
事業内容	よさの百年の暮らし委員会を設置し、環境保全啓発事業等を行う。					
令和4年度の取組と成果						
主な取組	①よさの百年の暮らし委員会の会議(第2次町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定に係る会議を含む)を開催(委員報酬)・・・297千円 ②よさの百年の暮らし委員会が実施する事業に要する費用を支援(補助金)・・・190千円					
通年 ◆与謝野町地球温暖化対策実行計画の推進 ◆中央公民館事業(エコキッズ与謝野)への協力 ◆「ちょこボラ」事業の推進 ◆啓発CMをCATVにて放送 ◆宮津天橋高校加悦谷学舎とのコラボ事業 委員会の開催 4/15、5/19、6/28、9/12、1/19、2/7、3/22 計7回 5月 グリーンカーテンの作り方の動画放送 5月～10月 緑のカーテンコンテストの開催 応募数32作品(個人:26、事業所:6) 最優秀賞1、優秀賞1、みらいふ賞3作品を選出 ※応募作品の展示会:10/17～11/6 5月8日(日) グリーンカーテン設置作業 @野田川庁舎 9月11日(日) ASOピクニック出店 @阿蘇シーサイドパーク 委員5名 9月23日(金) かえっこバザール視察(防災大作戦2022) @わーくぱる 委員6名 10月23日(日) エコキッズ(エコ・ハロウィン) エコキッズ8名、中央公民館3 民生委員児童委員2名、委員4名	10月31日(月) よさのみらい会議 委員10名 11月11日(金) 委員視察研修 @徳島県上勝町 委員4名 12日(土) 3月5日(日) 与謝野町の環境未来2023 来場者83名 @加悦谷ショッピングプラザウイイル 委員12名 ↓2022年度緑のカーテンC最優秀賞作品					
						

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、	左記の具体的説明								
<table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>①阿蘇海等環境づくり事業</p> <p>令和4年度は新型コロナウイルス感染症の関係もあり、IVUSAによる「アオサ回収・カキ殻回収」などの各種事業も制限をもった中での活動となった。また、「阿蘇海の日」事業も中止となったため、年間を通じて阿蘇海等環境改善に係る事業がほぼ出来なかった。しかしながら、民間など個人レベルでは普段からのごみ拾い等を継続して実施していただいております、これまでの啓発活動が一定効果のあるものだと感じられた。</p> <p>②よさの百年の暮らし委員会事業</p> <p>町の環境保全事業の最先峰として、自主的な運営を女性会長中心に行っており、定期的な委員の交代など新陳代謝も図りながら、町民に対し身近に、誰でも参加できる活動を提案をし、推進している。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和5年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>①阿蘇海等環境づくり事業</p> <p>前年度までは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため清掃活動を自粛している。新型コロナウイルス感染症が5類となり、行動制限が解除される中で、時点に応じた環境に関する取り組みを積極的に行う。阿蘇海や野田川流域の環境改善は大きな課題だが、町民ニーズを的確に捉えていけるよう内容を改善していかなければならないところもある。</p> <p>②よさの百年の暮らし委員会事業</p> <p>令和5年度以降の取組に繋げていきたい。阿蘇海や野田川流域の環境改善は大きな課題だが、町民ニーズを的確に捉えているかは不明。</p>	<p>①阿蘇海等環境づくり事業</p> <p>前年度までは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため清掃活動を自粛している。新型コロナウイルス感染症が5類となり、行動制限が解除される中で、時点に応じた環境に関する取り組みを積極的に行う。</p> <p>②よさの百年の暮らし委員会事業</p> <p>みらいふ委員の協力を得て、「第2次与謝野町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」の策定が完了した。</p> <p>本計画に基づき行動を起こしていくことが必要である。</p>								

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	自然循環農業推進事業			事業コード	決算書頁	134-137
				6010301	担当課	農林環境課
歳出費目	款 農林水産業費	項 農業費	目 農業振興費	作成責任者	課長 三田大智	
総合計画	分野名	(分野1)一人ひとりが個性を生かし安心して働けるまち		分野名		
	施策名	(施策2)農業の振興		施策名		
根拠法令等	食料・農業・農村基本法、農地法、農業経営基盤強化促進法等			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	京の豆っこ肥料を核とした自然循環農業の推進を図る。
------	---------------------------

## 3. 業績指標

指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標	
活動指標 実績/計画(見込)	豆っこ米生産者数の割合	%	16.8/30.0	17.2/30.0	/30.0	/30.0	30.0(R12)
成果指標 実績/目標	環境保全型農業直接支払交付金対象面積	ha	46.5/46.5	46.5/46.5	/46.5	/46.5	46.5(R8)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト	R3年度	R4年度	比較	財源内訳	R3年度	R4年度	比較
総事業費	8,858	15,234	6,376	一般財源	3,774	10,422	6,648
事業費	4,689	9,238	4,549	特定財源			
職員人件費	4,169	5,996	1,827	国支出金	2,262	2,259	▲ 3
(参考) 職員数	0.59	0.95	0.36	府支出金	2,661	2,352	▲ 309
会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	地方債	0	0	0
				その他特定財源	161	201	40
				特定財源の名称	国)地方創生推進交付金、府)環境保全型農業直接支払交付金、その他)京の豆っこ米袋代		

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。  
注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	自然循環農業推進事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	6,121	R4新規
事業内容	町独自の有機質肥料「京の豆っこ」を活用した自然循環農業を推進するほか、農作物のブランド化や高付加価値化など特色ある農業に取り組む農業者及び農業団体に対し補助金を交付する。					
令和4年度の取組と成果						
主な取組	①京の豆っこ米販売促進事業(小規模農家の散布費用に対する支援 他)(委託料、補助金)・・・5,347千円 ②大豆の生産に対する費用の一部を支援(補助金)・・・774千円					
	<p>① 京の豆っこ米販売促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農家負担軽減のための豆っこ肥料散布業務委託(委託料)・・・2,375千円 委託業者 7件 委託面積 51.7ha</li> <li>京の豆っこ米販売促進活動、京の豆っこ特別栽培米に対する支援(補助金)・・・1,512千円 補助対象者 5件</li> </ul> <p>取組内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>京の豆っこ米 米袋作製</li> <li>京の豆っこ米販売促進費、デジタルサイネージリース料(野菜の駅での宣伝)</li> <li>京の豆っこ特別栽培米の栽培</li> <li>自然循環農業の推進に係る勉強会</li> <li>ICT技術の活用による農産物品質の向上</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>京の豆っこ肥料に関する研究(施肥試験、食味試験)(委託料)・・・1,269千円 三重大学への研究委託費 936千円 試験協力生産者(4件)へのほ場管理委託(協力)費 260千円</li> </ul>					
	  					

② 大豆等生産支援事業

- ・生産数量に対する支援(20円/kg)・・・278千円
- ・収量減少に対する支援(208円/10a)・・・104千円
- ・生産コストに対する支援(14円/kg)・・・392千円

中事業②	環境保全型農業直接支払交付金事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	3,116	R4新規
事業内容	化学肥料・化学合成農薬を低減する取組と併せて行う地球温暖化防止・生物多様性保全等に効果の高い営農活動に対し交付金を交付する。					

令和4年度の取組と成果

主な取組	①環境保全に効果の高い営農に対して補助金支援(補助金)・・・3,056千円
	②環境保全型農業直接支払交付金事業に係る事務経費等(需用費他)・・・60千円

- ・カバークロップの取組: 4,138a
- ・有機農業の取組: 475a
- ・秋耕の取組: 39a



れんげ畑(地力増強作物による化学肥料の削減)

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>特色ある農業を推進することで農産物のブランド化、高付加価値化による安定した農業経営の支援を通じ本事業の目標である優良農地の保全に取り組んでいる。耕作放棄地の発生がなく定められた農振農用地の保全がされており、事業目的は達成されていると評価する。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和5年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>現在の自然循環農業は、豆っこ肥料を使った農業と同義となっており、有機物供給施設の運営状況の課題(原材料確保、肥料保管、就労環境改善)から早期には肥料増産が見込めず、取組みの拡大が難しい状況とである。</p>	<p>取組みの拡大と更なるブランド化を進めるため、現在の豆っこ肥料を活用した農業は引き続き与謝野町の自然循環農業の核としたまま、地域の食品製造残渣等を活用した有機質資材(堆肥、土づくりの資材)を生産し、これを活用した農業、また地域で製造された堆肥等を活用した農業、その他環境保全に資する取組み等も自然循環農業の規格として定め、認定することにより、「環境保全型農業」として町全体の取組みとしての拡大を図りたい。今後は農林環境課内、農業者団体や環境団体等の間で議論・検討を進め、事業の再構築を目指す。</p>								

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	農地保全推進事業			事業コード	決算書頁	136-139
				6010304	担当課	農林環境課
歳出費目	款 農林水産業費	項 農業費	目 農業振興費	作成責任者	課長 三田大智	
総合計画	分野名	(分野1)一人ひとりが個性を生かし安心して働けるまち	分野名	(分野6)美しく住みやすい安心安全なまち		
	施策名	(施策2)農業の振興	施策名	(施策2)災害に強い安心・安全なまちづくり		
根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律		関連計画等			

## 2. 事業の目的

事業目的	農地が持つ多面的機能の適切な発揮や農用地の維持管理を促進する。
------	---------------------------------

## 3. 業績指標

指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標	
活動指標 実績/計画(見込)	多面的交付金に取り組む農業者団体数	件	23/23	19/19	/19	/19	19(R8)
	※R4:組織の広域化により23→19						
成果指標 実績/目標	多面的機能支払制度の農地維持支払交付金に取り組む面積	ha	748/748	748/748	/748	/748	748(R8)
	指標で表せない 成果・効果						

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト	R3年度	R4年度	比較	財源内訳	R3年度	R4年度	比較	
総事業費	128,068	124,186	▲ 3,882	一般財源	35,317	31,725	▲ 3,592	
事業費	122,768	121,653	▲ 1,115	特定財源	国支出金	0	250	
職員人件費	5,300	2,533	▲ 2,767		府支出金	92,677	92,397	▲ 280
(参考) 正職員	0.75	0.55	▲ 0.20		地方債	0	0	0
職員数	0.00	0.00	0.00		その他特定財源	74	64	▲ 10
注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。				特定財源の名称	国)地方創生推進交付金 府)多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金、収益力強化整備事業費補助金、その他)多面的機能支払交付金事業返還金			

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	多面的機能支払交付金事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	62,014	R4新規
事業内容	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を支援する。					
令和4年度の取組と成果						
主な取組	①農業者団体19組織の地域協働活動を支援(交付金)・・・61,316千円					
	②多面的機能支払交付金推進に係る消耗品や燃料費を支出(需用費)・・・486千円					
③多面的機能支払交付金事業の未実施分に対する国府費を返還(返還金)・・・48千円						
・多面的機能支払交付金に係る対象面積:748ha						
						
交付金を活用した農道補修の様子						
中事業②	中山間地域等直接支払交付金事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	53,771	R4新規
事業内容	中山間地域等において集落等を単位に農用地を維持・管理していくための協定を締結し、それに従って行う農業生産活動等を支援する。					
令和4年度の取組と成果						
主な取組	①協定を締結した17集落の農業生産活動等を支援(交付金)・・・53,587千円					
	②中山間地域等直接支払交付金推進に係る消耗品や燃料費を支出(需用費)・・・123千円					
・中山間地域等直接支払交付金に係る協定面積:342ha うち、急傾斜 163ha 緩傾斜 179ha						
						
交付金を活用した獣害フェンス補修の様子						

中事業③	地域振興事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	5,868	R4新規
事業内容	集落連携により営農に取り組む団体及び担い手が効率化や水稲から転換するための機械等の導入を行う経費に対し補助金を交付する。また、新規作物栽培に挑戦する個人または団体に対し補助金を交付する。					
令和4年度の取組と成果						
主な取組	①集落営農組織の収益力強化に資する機械購入費用の一部を支援(補助金)・・・5,202千円 ②京都よさの百商一気合同会社による桜栽培事業に対し支援(補助金)・・・500千円					
	・集落連携100ha農場づくり事業の収益力強化整備事業を活用し、担い手による機械導入を支援 (対象者5戸 乾燥ボイラー、トラクター、マルチャーなど)  ・実施主体: 京都よさの百商一気合同会社 内容: 視察研修、桜栽培事業(桜苗木購入費、資材・肥料購入経費)					
						
	担い手支援により購入されたトラクター			百商一揆による食用桜の栽培(様子)		

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。	○	前年度の水準に留まった。		前年度の水準を下回った。		左記の具体的説明  多面的機能支払交付金事業の課題であった活動組織の事務負担を軽減するために、令和4年度に与謝野町広域協定を設立し、持続可能な活動体制を構築することができ、事業の効率性が向上した。
大きく向上した。									
向上した。	○								
前年度の水準に留まった。									
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和5年度以降における課題解決に向けた方向性								
農業者の高齢化等により活動の継続が難しくなっている組織が発生していることから、持続可能な体制を構築する必要がある。	これからも人口減少、高齢化が進行するため広域協定未加入組織に事務の集約化や草刈等の共同作業の効率化などのメリットをアピールし、加入の推進を図る。また、農地所有者や地域住民に農地の現状や将来のあり方を把握、理解してもらい農地保全に対する協力について働きかけていく。								

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	有機物供給施設管理運営事業			事業コード	決算書頁	140-141
				6010701	担当課	農林環境課
歳出費目	款 農林水産業費	項 農業費	目 農業施設管理費	作成責任者	課長 三田大智	
総合計画	分野名	(分野1)一人ひとりが個性を生かし安心して働けるまち	分野名	(分野6)美しく住みやすい安心安全なまち		
	施策名	(施策2)農業の振興	施策名	(施策1)自然環境保全と循環型社会の構築		
根拠法令等	与謝野町有機物供給施設条例 与謝野町有機物供給施設条例施行規則		関連計画等	みどりの食料システム戦略		

## 2. 事業の目的

事業目的	与謝野町産有機質肥料の普及を図る。
------	-------------------

## 3. 業績指標

指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標	
活動指標 実績/計画(見込)	京の豆っこ肥料の製造量	t	267/270	255/270	/270	/270	270(R8)
成果指標 実績/目標	京の豆っこ肥料を使用した圃場の面積割合	%	17.7/30.0	17.3/30.0	/30.0	/30.0	30.0(R12)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト	R3年度	R4年度	比較	財源内訳	R3年度	R4年度	比較
総事業費	35,404	47,714	12,310	一般財源	8,650	25,007	16,357
事業費	20,890	25,089	4,199	特定財源			
職員人件費	14,514	22,625	8,111	国支出金	15,802	10,662	▲ 5,140
(参考) 正職員	0.31	0.70	0.39	府支出金	0	0	0
職員数	3.00	3.98	0.98	地方債	0	0	0
				その他特定財源	10,952	12,045	1,093
				特定財源 の名称	国)地方創生推進交付金 その他)豆っこ肥料売り上げ金		

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。  
注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	有機物供給施設管理運営事業	類型	施設管理型	中事業事業費(千円)	25,089	R4新規
事業内容	有機物供給施設の管理運営のほか、町独自の有機質肥料「京の豆っこ」の製造・販売を行う。					

### 令和4年度の取組と成果

- 主な取組
- ①有機物供給施設機械設備メンテナンスの実施(委託料)・・・2,530千円
  - ②肥料製造に係る原材料(米ぬか、脱脂ぬか他)の調達(原材料費)・・・3,260千円
  - ③肥料製造機械等の修繕を実施・・・2,164千円

①有機物供給施設機械設備メンテナンスの実施・・・2,530千円

②肥料製造に係る原材料(米ぬか、脱脂ぬか他)の調達・・・3,260千円

③肥料製造機械等の修繕の実施・・・2,164千円

スクリーコンベア用シャフト取替修繕・・・1,026千円

ペレットミル用部品修繕・・・214千円

屋外タンク水面計修繕・・・484千円

高圧電圧機器取り換え修繕・・・440千円



京の豆っこ肥料(有機質肥料)



自然循環農業のサイクル



--

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価		左記の具体的説明							
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td style="text-align: center;">大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">前年度の水準に留まった。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		有機質肥料「京の豆っこ」の製造量はR3が266.9tに対しR4が255.1tと前年度の水準を下回ったが、本事業の成果目標である、京の豆っこ肥料を使用した圃場の面積割合は、R3からほぼ横ばいであるため「前年度の水準に留まった」と評価する。
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和5年度以降における課題解決に向けた方向性								
国が「みどりの食料システム戦略」を打ち出し、今まで以上に環境負荷の少ない農業、有機質農業を推進していく姿勢を明らかにしており、有機質肥料の需要が高まることは明らかであるが、現状、原材料確保・労働環境などに課題があり「京の豆っこ肥料」の製造量に限界がある。	「京の豆っこ肥料」の製造に必要な原材料の確保・労働環境の整備等に課題があり大幅な増産が見込めないことから、大学による調査研究の成果を参考にしながら肥料散布量の見直しや、自然循環農業の再構築に即した新たな有機資材の開発を目指す。								

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	産業振興事業			事業コード	決算書頁	146-147
				7010203	担当課	産業観光課
歳出費目	款 商工費	項 商工費	目 商工業振興費		作成責任者	課長 市田桂一
総合計画	分野名	(分野1)一人ひとりが個性を生かし安心して働けるまち		分野名		
	施策名	(施策4)商工業の振興		施策名		
根拠法令等	与謝野町中小企業振興基本条例、与謝野町産業振興事業費補助金交付要綱			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	町内中小企業・小規模企業者の事業拡大や事業継承などを支援する。
------	---------------------------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	産業振興連絡調整会議(補助金ヒアリング他)	回	10/10	11/10	/10	/10	10(R8)
			/	/	/	/	(R●)
成果指標 実績/目標	中小企業・小規模企業者数	社	923/924	924/924	/924	/924	924(R8)
	創業件数	件	0/3	0/3	/3	/3	3(R8)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト				財源内訳						
	R3年度	R4年度	比較		R3年度	R4年度	比較			
総事業費	9,943	9,305	▲ 638	一般財源	4,240	6,283	2,043			
	事業費	5,703	6,025		322	特定財源	国支出金	1,917	888	▲ 1,029
	職員人件費	4,240	3,280		▲ 960		府支出金	1,786	0	▲ 1,786
(参考)	正職員	0.60	0.40	▲ 0.20	地方債	0	0	0		
職員数	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	2,000	2,134	134		
注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。				特定財源 の名称	国)地方創生推進交付金、府)きょうと地域連携交付金 他)R3(財)地域活性化センター補助金、R4ふるさと納税 寄附金					

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	産業振興支援事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	5,209	R4新規
事業内容	町内の中小企業・小規模企業者が行う産業振興に資する事業に対し補助金を交付する。					
令和4年度の取組と成果						
主な取組	①創業、販路拡大等にかかる経費の一部を支援(補助金)・・・3,075千円					
	②厨房機器、施設建設等にかかる経費の一部を支援(補助金)・・・2,134千円 (1)㈱シオノ醸工(厨房設備機器の一部)					
<p>■産業振興事業費補助金 25事業所へ 3,075千円の支援を行った          創業支援 4事業所 販路開拓事業 6事業所          人材育成事業 4事業所 知的財産権取得支援事業 1事業所          デジタル技術活用事業 4事業所 リクルーディング強化事業 6事業所</p> <p>■クラウドファンディング活用ビジネス応援事業補助金          2,134千円(2,133,615円)          (1)㈱シオノ醸工・・・ZIP CAFE整備事業(厨房設備機器整備)          1,525千円(1,525,000円)          (2)㈱ローカルフラッグ・・・ビール醸造所建設          609千円(608,615円)※R4年度分 1,131千円(1,130,285円)※R5年度分</p>						
  <p>(2)㈱ローカルフラッグ(R4年度分)</p>   						
中事業②	産業振興計画推進事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	322	R4新規
事業内容	住民、町内事業者等で産業振興会議を組織し、中小企業振興基本条例に基づき産業振興施策の協議、立案、検証を行う。					
令和4年度の取組と成果						
主な取組	①第6期与謝野町産業振興会議の開催及び与謝野町中小企業振興基本条例シンポジウムの開催(委員報酬等)・・・322千円					

<p>①第6期与謝野町産業振興会議(委員19名) 6回開催 テーマ:「与謝野町中小企業振興基本条例一部改正に向けて」          令和3年度から条例一部改正に向けての議論を行い、「条例改正案 制定に向けた提言」を町へ提出した。          町は提言を受けて、条例改正議案を提案し、可決された。条例の普及を目的に条例シンポジウムを開催した。</p>							
中事業③	持続可能な地域産業育成事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	0	R4新規	
事業内容	町内産業に関する情報発信により町外企業との企業間交流事業等を行うほか、よさのみらい大学ビジネス学部を運営し、各種講座を開催する。						
令和4年度の取組と成果							
主な取組	地域内経済循環の推進を目的に、町内農作物の北部医療センターでの取扱いについて、受給調査及びトライアル事業の委託を予定していたが、町内農業者との調整において現段階では実施困難と判明したため事業実施を見送った。(予算額300千円)						
中事業④	事業者連携促進事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	495	R4新規	○
事業内容	ATARIYAなどテレワークの環境が整った。地域外の事業者がテレワーク・ワーケーションで町内施設の活用を進めるとともに、来町されたことをきっかけに町内事業との事業間交流を促進させ、連携ビジネスの創出を狙う。						
令和4年度の取組と成果							
主な取組	①開催運営等の業務を委託(委託料)・・・495千円						
日時:令和4年10月1日 10時～15時 場所:ATARIYA		参加者:町内事業者・安田織物(株)、臼井織物(株)、誠武農園		外部事業者:一般社団法人経営実践研究会、会員企業12社		ファシリテーター:一般社団法人リリース、(株)ウエダ本社	
内容:町内事業者から現在の取り組みとそれに対する課題を発表して頂き、それに関心を持った研究会メンバーが4人ずつ集まり意見を出し合うセッションを二回行った。							

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。	○	前年度の水準に留まった。		前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>産業振興事業においては、一部、事業実施を見送ったものがあるが、概ね予定どおり事業者支援、事業実施ができたため、事業効果等は向上したと考える。</p>
大きく向上した。									
向上した。	○								
前年度の水準に留まった。									
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和5年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>専門的な知識を要する経営支援において、継続的支援が至っていないため、商工会と連携する必要がある。</p>	<p>令和5年度から産業振興支援事業については、事業者の課題解決に繋げるため、商工会経営支援員による伴走支援ができるように、商工会助成事業に支援枠を移管することとした。</p>								

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	織物振興対策事業			事業コード	決算書頁	148-149
				7010204	担当課	産業観光課
歳出費目	款 商工費	項 商工費	目 商工業振興費	作成責任者	課長 市田桂一	
総合計画	分野名	(分野1)一人ひとりが個性を生かし安心して働けるまち		分野名		
	施策名	(施策3)織物業の振興		施策名		
根拠法令等	与謝野町織物機械調整等支援事業費補助金交付要綱、与謝野町織物業生産基盤支援事業補助金交付要綱、与謝野町織物業生産設備広幅化支援事業補助金交付要綱、与謝野町織物業小規模生産基盤支援事業補助金交付要綱、与謝野町織物業等需要開拓推進事業費補助金交付要綱			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	織物業の振興を図る。
------	------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	織物補助金の公募広報回数	件	1/1	1/1	**/1	**/1	1(R8)
			/	/	/	/	(R●)
成果指標 実績/目標	織物事業所件数(商工会機業部会員)	件	218/220	213/220	**/210	**/210	210(R8)
			/	/	/	/	(R●)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト				財源内訳				
	R3年度	R4年度	比較		R3年度	R4年度	比較	
総事業費	33,125	24,462	▲ 8,663	一般財源	21,191	14,141	▲ 7,051	
事業費	25,705	21,072	▲ 4,633	特定財源	国支出金	11,934	10,321	▲ 1,612
職員人件費	7,420	3,390	▲ 4,030		府支出金	0	0	0
(参考) 正職員	1.05	0.60	▲ 0.45		地方債	0	0	0
職員数	0.00	0.00	0.00		その他特定財源	0	0	0
注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。				特定財源 の名称	地方創生推進交付金			

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	和装振興事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	3,551	R4新規	
事業内容	丹後織物工業組合が行う和装普及事業等に対し支援を行う。						
令和4年度の取組と成果							
主な取組	①丹後織物工業組合に対する支援(補助金)・・・1,122千円						
	②京都府が行うアーティストインレジデンス事業の費用を負担(負担金)・・・2,000千円						
主な取組	③きもの着付け教室事業を実施(委託料)・・・405千円						
	①丹後織物工業組合が行った主な事業内容	②京都:Re-Search実行委員会が行ったAIR事業	③着物着付け教室の実施				
	・スキンケア新ブランド開発試験事業	・スキャンタイルによるテキスタイルの魅力化	赤松はるみ先生				
	・ECサイト運営事業		夏・浴衣・特別・卒入学講座				
	・オンライン商談会事業		11回(6月-3月)				
	・TANGOOPEN普及・活用事業		長島みやこ先生				
	・POPUP事業		初心者講座 8回(10/13-12/1)				
	・展示商談会出展事業	滝の千年ツバキ公園の作品展示					
中事業②	織物業生産基盤支援事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	14,745	R4新規	
事業内容	織物業事業者が行う設備投資等に対し支援を行う。						
令和4年度の取組と成果							
主な取組	①商工会が取りまとめる織機調整等に対する支援(補助金)・・・1,193千円						
	④事業費が30万円未満の設備更新等に対する支援(補助金)・・・832千円						
	②小幅織機等の生産設備の改修等を実施する織物業事業者に対する支援(補助金)・・・7,773千円						
主な取組	③広幅織機等の生産設備の改修等を実施する織物業事業者に対する支援(補助金)・・・4,947千円						

①町内織物事業者が織機調整を行う経費の一部を商工会及び町で支:②～④ 織物事業者に対する補助金

件数:633件(R3:653件)

- ・加悦支部 231件 対象事業者46件
- ・野田川支部 276件 対象事業者61件
- ・岩滝支部 126件 対象事業者25件

織機調整_過去3年推移						千円
令和4年度		令和3年度		令和2年度		
件数	支援額	件数	支援額	件数	支援額	
加悦	231	569	220	534	257	602
野田川	276	652	278	663	248	548
岩滝	126	310	155	363	161	393
合計	633	1,531	653	1,560	666	1,543

織物業関係補助金予算額の過去5カ年推移							(単位:件・千円)	
事業名	織物業小規模生産基盤支援事業	H30	H31(R1)	R2	R3	R4		
申請件数				10	11	14		
補助金実績額				321	572	841		
事業名	織物業生産基盤支援事業	H30	H31(R1)	R2	R3	R4		
申請件数		54	24	22	20	22		
補助金実績額		14,980	12,393	7,531	7,689	7,793		
事業名	織物業生産設備広域化支援事業	H30	H31(R1)	R2	R3	R4		
申請件数		3	12	12	6	9		
補助金実績額		3,342	12,830	7,067	6,100	5,239		

中事業③	織物職人人材確保事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	2,776	R4新規
事業内容	商工会に委託し、織物技能訓練センターにおいて、織物事業者の従業員等を対象にした力織機の製織技術の指導を行う。					
令和4年度の取組と成果						
主な取組	①製織ができる技術者を養成するプログラムを実施(委託料)・・・2,776千円					
	②町内の織物業界へ就職・創業を目指す若者を呼び込むプログラムを企画_未実施(委託料)・・・0千円					
	①与謝野町商工会の技術指導員による技術指導 技術指導員:尾関正巳・茂籠龍一郎 R4年度受講者数:13人(うち力織機11名・手機2名) (※R3年度:力織機14名、手機2名)			②短期滞在型織物体験プログラム企画運営業務 公募型プロポーザルにて募集を行ったが、手を挙げる事業者無し。 再公募できるスケジュールもなかったため、未実施。 補正予算にて全額減額		

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td>○</td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。		前年度の水準を下回った。	○	<p>左記の具体的説明</p> <p>機業部会員数が新型コロナウイルス感染症や経費高騰等の要因により想定していた数より減少した。 インボイス制度も令和5年10月から開始されるため、減少に拍車がかかることが予想される。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。									
前年度の水準を下回った。	○								
<p>事業の課題</p> <p>織機等の機料品不足や織手(担い手)の高齢化等による減少により産地の基盤が危ぶまれている。そこに原材料費、燃料・光熱水費等の高騰を重ねているため、町だけで解決しようとするのではなく、府や京丹後市とともに産地の維持を目指す必要がある。</p>	<p>令和5年度以降における課題解決に向けた方向性</p> <p>織物技術指導者の後継者育成、4年度に引き続き生産基盤等の設備改修等を支援しつつ、京都府や京丹後市等の関係機関とともに産地の在り方を検討していく。</p>								

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	企業立地推進事業				事業コード	決算書頁	148-149
					7010206	担当課	産業観光課
歳出費目	款 商工費	項 商工費	目 商工業振興費		作成責任者	課長 市田桂一	
総合計画	分野名	(分野1)一人ひとりが個性を生かし安心して働けるまち		分野名			
	施策名	(施策6)魅力ある働く場の創出		施策名			
根拠法令等	与謝野町企業立地促進条例			関連計画等			

## 2. 事業の目的

事業目的	与謝野町企業立地促進条例に基づき町内への企業立地を促進する。
------	--------------------------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	企業訪問(関西圏)	回	/	/	**/6	**/8	12(R8)
	情報発信イベントの開催	回	/	/	**/2	**/2	2(R8)
成果指標 実績/目標	誘致・立地企業件数	件	0/1	0/1	**/1	**/1	1(R8)
			/	/	/	/	(R●)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト				財源内訳					
	R3年度	R4年度	比較		R3年度	R4年度	比較		
総事業費	8,448	9,611	1,163	一般財源	1,413	9,611	8,198		
	事業費	7,035	9,156		2,121	国支出金	7,035	0	▲ 7,035
	職員人件費	1,413	455		▲ 958	府支出金			0
(参考) 職員数	正職員	0.20	0.05	▲ 0.15	地方債			0	
	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源			0	
注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。				特定財源 の名称	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(R3)				

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	企業立地推進事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	9,156	R4新規	
事業内容	町内に進出・立地した企業に対し、企業立地促進条例に基づき支援を行う。						

### 令和4年度の取組と成果

主な取組	①誘致企業(奨励指定企業)に対して固定資産税相当額を支援(企業立地促進奨励金)・・・1,007千円
	②誘致企業(奨励指定企業)が新規で雇用した町民、近隣6市町住民の従業員に応じて補助支援(支援企業立地雇用奨励金)・・・6,700千円
	③誘致企業(奨励指定企業)の借入金利子に対して一定額を支援(企業立地利子補助金)・・・1,229千円

(千円)

企業立地奨励金 (5年間)		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	件数				1	1	2
補助金額				559	688	750	1,007
企業立地促進助成金 (1回)		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	件数		1			2	
補助金額			4,383			4,801	
企業立地雇用奨励金 (1回)		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	件数			1			2
補助金額				2,100			6,700
企業立地促進利子補助 (5年間)		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	件数		1	1	1	2	2
補助金額			408	794	758	1,323	1,229

計 8,936千円

企業誘致戦略を策定

複業人材を登用して、企業誘致戦略(誘致ターゲットの設定、SWOT分析を含む)を策定した。

中事業②		類型		中事業事業費(千円)		R4新規	
事業内容							
令和4年度を取組と成果							
主な取組							

### 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td>○</td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。		前年度の水準を下回った。	○	<p>左記の具体的説明</p> <p>令和4年度の企業誘致の実績が無いため。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。									
前年度の水準を下回った。	○								
事業の課題	令和5年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>企業誘致の推進については、土地利用計画に位置付けられた一団の分譲団地がないこともあり、京都府企業誘致推進連絡会議などを通じての情報発信や、問い合わせがあれば条例にある優遇措置を提示する程度で、積極的な活動ができていない状況にある。</p>	<p>令和4年度に策定した企業誘致戦略に基づき、令和5年度以降は、町内に散在する空き地や空き工場(こうば)の利活用を図り、町内事業者との連携を視野に入れた、比較的小規模な企業や事業者の誘致を図ることとしている。</p> <p>条例に基づく奨励措置については、財政状況が厳しい中、近隣市町の状況も見ながら必要な見直しを行う必要がある。</p>								

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	クアハウス岩滝管理運営事業			事業コード	決算書頁	154-157
				7010706	担当課	産業観光課
歳出費目	款 商工費	項 商工費	目 観光施設管理費	作成責任者	課長 市田桂一	
総合計画	分野名	(分野2) 地元を誇りに思い、人の流れを生むまち		分野名		
	施策名	(施策2) 魅力を体験・体感できるコンテンツの開発		施策名		
根拠法令等	クアハウス岩滝条例		関連計画等			

## 2. 事業の目的

事業目的	地域住民等の健康増進と地域の活性化を図る。
------	-----------------------

## 3. 業績指標

指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	施設稼働日数	日	278/306	307/307	/313	/313	313(R8)
			/	/	/	/	(R●)
成果指標 実績/目標	施設利用者数	人	76,059/77,869	95,941/81,762	/78,200	/95,720	99,580(R8)
	施設の総売上	千円	45,793/47,656	52,909/50,038	/39,250	/48,040	50,000(R8)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

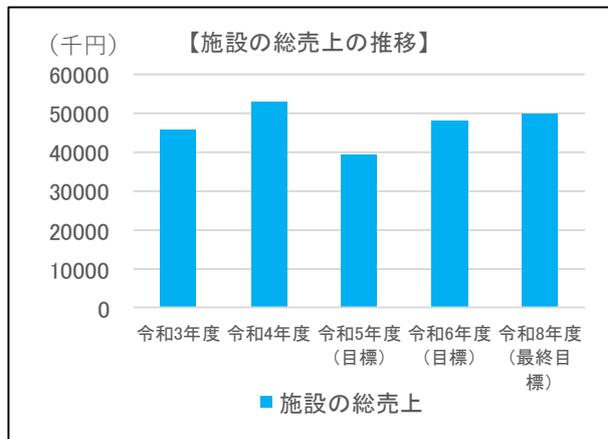
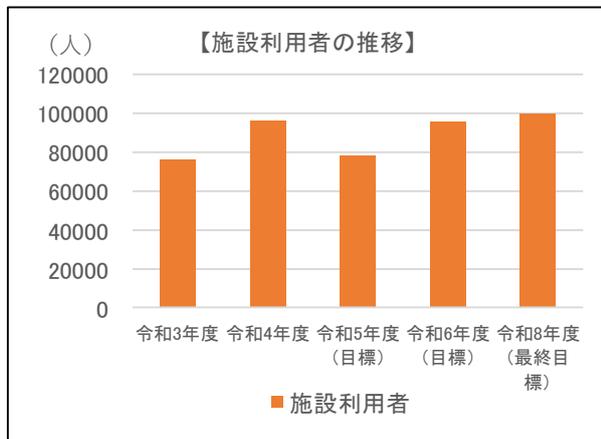
事業コスト				R3年度	R4年度	比較	財源内訳			R3年度	R4年度	比較
(参考)	職員数	正職員	0.90	0.70	▲ 0.20	特定財源	一般財源	61,619	82,637	21,018		
		会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00		国支出金	0	0	0		
		総事業費	62,522	83,000	20,478		府支出金	627	0	▲ 627		
事業費	56,162	77,350	21,188	地方債	0		0	0				
職員人件費	6,360	5,650	▲ 710	その他特定財源	276		363	87				
注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。							特定財源の名称	(府)きょうと地域連携交付金 (他)財産収入(自販機敷地使用料ほか)				

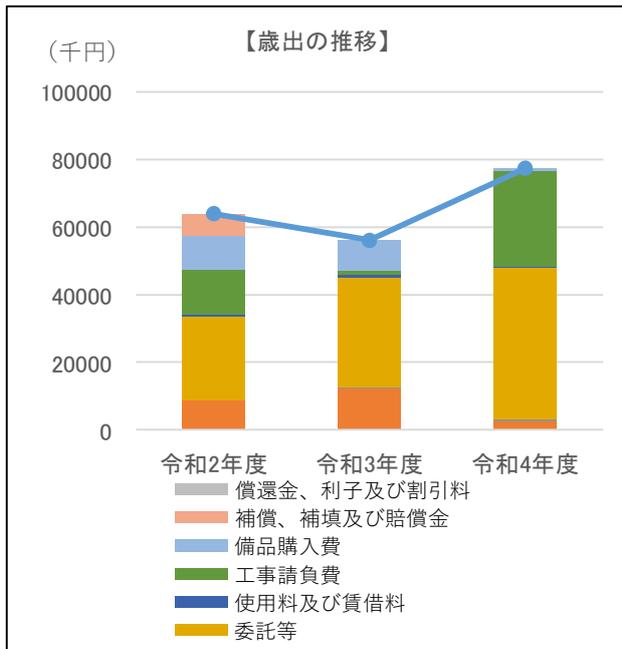
## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	クアハウス岩滝管理運営事業	類型	施設管理型	中事業事業費(千円)	77,350	R4新規	
事業内容	クアハウス岩滝の運営及び施設の維持管理を行う。令和5年度には、温泉設備等の改修工事を実施予定。						

### 令和4年度の取組と成果

主な取組	①施設の管理運営を指定管理者に委託(委託料)・・・38,133千円 ②クアハウス岩滝維持補修工事を実施(工事請負費)・・・28,000千円 ③水着用の脱水機2台を新たに設置(備品購入費)・・・856千円
------	---





水着用脱水機



維持補修工事  
ろ過タンクの検収

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

### 事業目的に対する自己評価

町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、

大きく向上した。	
向上した。	○
前年度の水準に留まった。	
前年度の水準を下回った。	

左記の具体的説明

コロナ禍以降、指定管理者のノウハウを活かした運営のもと、利用者数、収入の増加を図り、コロナ禍前の水準までには戻すことはできなかったものの、対前年度比では、19,882人増と大幅な回復となった。

施設の管理運営においては、健康増進施設として指定管理者による適正な管理運営に努めることができた。

### 事業の課題

今後の少子高齢化の進展や財政負担を考えれば、健康増進施設としての観点から地域医療機関等との連携模索や温泉資源のさらなる活用の可能性について引き続き検討を行う必要がある。

### 令和5年度以降における課題解決に向けた方向性

今後は、可能な限り早期に地域医療機関と連携した健康増進施設として、地域資源である天の橋立岩滝温泉の更なる活用ができるよう、積極的に調査検討を進めることとし、この方向性で指定管理者を募集し、健康増進施設としての運営形態を構築することとする。

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	公民館活動推進事業			事業コード	決算書頁	196-199
				10050104	担当課	社会教育課
歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費		作成責任者	課長 小谷貴儀
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名	(分野7)住民が主人公となるまち	
	施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進		施策名	(施策1)地域人財の育成	
根拠法令等	社会教育法		関連計画等			

## 2. 事業の目的

事業目的	地域の課題解決や教養の向上等を図る。
------	--------------------

## 3. 業績指標

指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標	
活動指標 実績/計画(見込)	中央・加悦地域公民館における公民館講座実施回数	回	9/10	7/10	/10	/10	10(R8)
	地区公民館活動講座実施件数	回	132/200	183/200	/200	/200	200(R8)
成果指標 実績/目標	中央・加悦地域公民館における公民館講座参加者数	人	59/300	74/300	/300	/300	300(R8)
	地区公民館活動講座参加者数	人	8,141/19,000	8,438/19,000	/19,000	/19,000	19,000(R8)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト	R3年度	R4年度	比較	財源内訳	R3年度	R4年度	比較
総事業費	10,235	11,272	1,037	一般財源	10,235	11,272	1,037
事業費	8,779	10,004	1,225	特定財源	国支出金	0	0
職員人件費	1,456	1,268	▲ 188		府支出金	0	0
(参考) 正職員	0.20	0.22	0.02		地方債	0	0
職員数	0.00	0.00	0.00		その他特定財源	0	0
注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計 全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。				特定財源 の名称			

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	公民館活動事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	154	R4新規
事業内容	地域公民館において住民を対象とした各種講座を行うほか、その他の公民館組織(町公連、府公連等)と連携し事業を行う。					

### 令和4年度の取組と成果

主な取組	①与謝野町公民館連絡協議会会議等開催(委員報酬)・・・72千円					
	②加悦地域公民館 公民館講座の開催(講師謝金)・・・35千円					
	③与謝地方公民館連絡協議会、府公民館研修会等(負担金)・・・37千円					
<p>(1) 公民館長・主事会議等</p> <p>① 館長・主事会議 館長・主事の委嘱および公民館活動委託事業の概要説明 参加者 31人</p> <p>② 与謝野町公民館連絡協議会 令和4年度総会・研修会 滝・石田・三河内地区公民館による実践発表 参加者34人 館長主事会議・研修会 夜久野地域公民館大本館長による実践発表 参加者16人 町への要望書提出 12月16日(金) 町からの回答書提出 3月17日(金)</p> <p>(2) 加悦地域公民館活動</p> <p>① つまみ細工教室(初心者コース) 参加者39人(延べ)</p> <p>② 音楽会 参加者20人</p> <p>③ 多肉植物寄せ植え体験教室 参加者15人</p>						
	 <p>大本館長による実践発表の様子</p>					

中事業②	地区公民館活動推進事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	9,850	R4新規																																																																																								
事業内容	地区公民館(20館)に委託し、地区住民向けの各種講座を実施する。																																																																																													
令和4年度の取組と成果																																																																																														
主な取組	①地区公民館長・主事の委嘱(謝金)・・・4,400千円																																																																																													
	②地区公民館活動の委託(委託料)・・・5,090千円 ③町有公民館管理の委託(委託料)・・・360千円																																																																																													
・謝金 公民館長 50千円/年、公民館主事170千円/年																																																																																														
地区公民館活動実施状況																																																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>公民館名</th> <th>館長</th> <th>主事</th> <th>実施回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>算所地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>加悦奥地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>8</td></tr> <tr><td>加悦地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>11</td></tr> <tr><td>後野地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>10</td></tr> <tr><td>与謝地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>9</td></tr> <tr><td>滝地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>10</td></tr> <tr><td>金屋地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>5</td></tr> <tr><td>温江地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>12</td></tr> <tr><td>明石地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>8</td></tr> <tr><td>香河地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>8</td></tr> </tbody> </table>				公民館名	館長	主事	実施回数	算所地区公民館	1	1	4	加悦奥地区公民館	1	1	8	加悦地区公民館	1	1	11	後野地区公民館	1	1	10	与謝地区公民館	1	1	9	滝地区公民館	1	1	10	金屋地区公民館	1	1	5	温江地区公民館	1	1	12	明石地区公民館	1	1	8	香河地区公民館	1	1	8	<table border="1"> <thead> <tr> <th>公民館名</th> <th>館長</th> <th>主事</th> <th>実施回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>石田地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>9</td></tr> <tr><td>弓木地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>8</td></tr> <tr><td>男山地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>10</td></tr> <tr><td>三河内地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>12</td></tr> <tr><td>岩屋地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>15</td></tr> <tr><td>幾地地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>9</td></tr> <tr><td>四辻地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>9</td></tr> <tr><td>上山田地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>7</td></tr> <tr><td>下山田地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>10</td></tr> <tr><td>石川地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>9</td></tr> </tbody> </table>			公民館名	館長	主事	実施回数	石田地区公民館	1	1	9	弓木地区公民館	1	1	8	男山地区公民館	1	1	10	三河内地区公民館	1	1	12	岩屋地区公民館	1	1	15	幾地地区公民館	1	1	9	四辻地区公民館	1	1	9	上山田地区公民館	1	1	7	下山田地区公民館	1	1	10	石川地区公民館	1	1	9
公民館名	館長	主事	実施回数																																																																																											
算所地区公民館	1	1	4																																																																																											
加悦奥地区公民館	1	1	8																																																																																											
加悦地区公民館	1	1	11																																																																																											
後野地区公民館	1	1	10																																																																																											
与謝地区公民館	1	1	9																																																																																											
滝地区公民館	1	1	10																																																																																											
金屋地区公民館	1	1	5																																																																																											
温江地区公民館	1	1	12																																																																																											
明石地区公民館	1	1	8																																																																																											
香河地区公民館	1	1	8																																																																																											
公民館名	館長	主事	実施回数																																																																																											
石田地区公民館	1	1	9																																																																																											
弓木地区公民館	1	1	8																																																																																											
男山地区公民館	1	1	10																																																																																											
三河内地区公民館	1	1	12																																																																																											
岩屋地区公民館	1	1	15																																																																																											
幾地地区公民館	1	1	9																																																																																											
四辻地区公民館	1	1	9																																																																																											
上山田地区公民館	1	1	7																																																																																											
下山田地区公民館	1	1	10																																																																																											
石川地区公民館	1	1	9																																																																																											
				20	20	183																																																																																								
・地区公民館における主な取組 ・10講座を目安に講座を実施 ・青少年育成講座、人権講座の2科目は必修																																																																																														

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		左記の具体的説明  公民館講座については、地区公民館・地域公民館ともにコロナ禍であり、当初計画どおりの事業実施が出来ない面もあったが、可能な範囲で実施することができた。 与謝野町公民館連絡協議会では、先進事例を学び、活動の参考とすることができた。
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和5年度以降における課題解決に向けた方向性								
それぞれの地区・地域公民館で創意工夫のうえ、精力的に講座を実施されているものの、現在の社会の動向に応じた講座の実施が求められている。 そのような講座等の企画・立案のために、公民館長・主事の能力向上を図ることが課題となっている。	公民館の館長・主事の皆様と先進事例に学ぶ意見交流を行い、公民館講座の質の向上を図る。 また、町公民館連絡協議会の研修を通じて学びを深めるとともに、令和5年度に策定予定の協働のまちづくり指針(仮称)を踏まえた活動を促進する。								

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	高校魅力化推進事業			事業コード	決算書頁	198-199
				10050107	担当課	社会教育課
歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費	作成責任者	課長 小谷貴儀	
総合計画	分野名	(分野7)住民が主人公となるまち		分野名		
	施策名	(施策1)地域人財の育成		施策名		
根拠法令等				関連計画等	与謝野町高校魅力化ビジョン	

## 2. 事業の目的

事業目的	宮津天橋高校加悦谷学舎生の人材の循環・還流体制の構築
------	----------------------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	地域探究・キャリア教育フィールドワーク	回	2/2	4/4	/7	/7	7(R8)
			/	/	/	/	(R●)
成果指標 実績/目標	地域愛着度	%	69/75	72/80	/80	/85	90(R8)
			/	/	/	/	(R●)
指標で表せない 成果・効果	学校の教育活動に地域を活用しようという意欲や理解度の向上 地域の高校生に対する期待度の向上						

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト				財源内訳					
	R3年度	R4年度	比較		R3年度	R4年度	比較		
総事業費	12,736	12,371	▲ 365	一般財源	10,846	10,415	▲ 431		
	事業費	4,860	5,020		160	国支出金	0	0	0
	職員人件費	7,876	7,351		▲ 525	府支出金	1,890	1,956	66
(参考) 職員数	正職員	0.61	0.50	▲ 0.11	特定財源	地方債	0	0	0
	会計年度任用職員	1.00	1.00	0.00	その他特定財源	0	0	0	
注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。				特定財源 の名称	きょうと地域連携交付金				

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	高校魅力化推進事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	5,020	R4新規	
事業内容	社会に最も近い存在である高校生に町の魅力や課題を伝え、将来の地方創生人財、地域活性化人財を育成する。						
令和4年度の取組と成果							
主な取組	①魅力化コーディネーター(地域おこし協力隊)の常駐配置(報酬、職員手当等、共済費、旅費、需用費、役務費、使賃、備品購入費) ・・・4,421千円(うち人件費3,315)						
	②進路実現支援講座の実施(高校魅力化推進業務委託)・・・3,914千円						
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域探究学習の推進 第2次総合計画に基づく町政の推進について、町職員17人を説明員として派遣</li> <li>キャリア教育の推進 1年生全生徒対象進路講話会 地域講師 4人 職種希望進路講話会(通称:Kayadani仕事図鑑) 地域講師 17人 地元(丹後・中丹地区)就職率50%を堅持</li> <li>進路実現支援講座(高校魅力化推進業務委託) 講座の開催(30回) 参加生徒 3年生 46人 2年生 11人 計 57人</li> <li>その他実践活動 小高スポーツ交流事業(町内小学校3校:加悦・三河内・石川) よさの高校生広報室@みらい(町FBIに6回掲載) 町産業振興会議(2人)・7市町高校生みらい会議(2人)への参画</li> </ul>							

<町職員による町の施策(総合計画)の説明>



<地域探究プレゼン>



<小高スポーツ交流>



<Kayadani仕事図鑑>



<進路実現支援講座>



<よさの高校生広報室@みらい>



6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価

町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、

大きく向上した。	
向上した。	○
前年度の水準に留まった。	
前年度の水準を下回った。	

左記の具体的説明

与謝野町高校魅力化ビジョンにおいて整理した地域探究学習、キャリア教育、進路実現支援を軸とした事業を展開したことにより、毎年、調査している生徒の地域愛着度が始めて学校全体で70%を超える結果となった。

また、地元(丹後・中丹地区)への就職も50%を堅持することができた。

なお、まちづくりアンケートの結果(H28・R4実施)において、15~19歳の「いったん離れるかもしれないが、いずれ戻ってきたい」の数値が前回から大きく伸びている(13.0%⇒21.7%)ことも本事業の有効性が数値で示されたものとする。

事業の課題

コーディネーター業務を個人(地域おこし協力隊)から組織への委託に変更したことにより、業務をノウハウとして蓄積し、人が入れ替わっても持続可能な推進体制を構築していくこと、卒業生との関係性の強化、志願者の増といった入口と出口も課題である。

令和5年度以降における課題解決に向けた方向性

まず、組織によるコーディネート機能を定着させ、協働の学びの質の向上と効率性を追求していきたい。

その上で、高校の魅力のさらなる底上げを図り、卒業生との関係性の強化や、効果的な魅力発信による受験生の増へと結びつけていきたい。

# 令和4年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	地域学校連携事業			事業コード	決算書頁	198-199
				10050108	担当課	社会教育課
歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費	作成責任者	課長 小谷貴儀	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進		施策名		
根拠法令等	与謝野町学校運営協議会規則		関連計画等			

## 2. 事業の目的

事業目的	地域の活力を活用し子ども達の成長を支援するとともに教育環境の充実を図る
------	-------------------------------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	支援を実施する学校数	校	8/8	8/8	/8	/8	9(R8)
			/	/	/	/	
成果指標 実績/目標	講座等への参加人数	人	2,338/2,000	1,677/2,000	/2,800	/3,000	3,000(R8)
	学校運営協議会開催回数	回	-	-	/3	/24	27(R8)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト	R3年度	R4年度	比較	財源内訳	R3年度	R4年度	比較
総事業費	2,757	5,876	3,119	一般財源	2,016	4,684	2,668
事業費	1,665	2,385	720	特定財源	国支出金	0	0
職員人件費	1,092	3,491	2,399		府支出金	741	1,192
(参考) 正職員	0.15	0.45	0.30		地方債	0	0
職員数	0.00	0.00	0.00		その他特定財源	0	0
				特定財源 の名称	子どものための地域連携事業補助金		

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。  
注)「職員人件費」欄は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	土曜日の教育支援体制構築事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	566	R4新規		
事業内容	各地域公民館において、児童生徒を対象とした土曜・夏休み講座を実施する。							
令和4年度の取組と成果								
主な取組	①加悦地域における講座の実施(報償費、需用費)……62千円							
	②野田川地域における講座の実施(報償費、需用費)……257千円							
主な取組	③岩滝地域における講座の実施(報償費、需用費)……207千円							
	土曜講座 (実施回数:55回、延べ参加人数:526人) ※合唱、環境学習、ばすてる画、茶道、書初め など							
夏休み等講座 (実施回数:14回、延べ参加人数:206人) ※宿題教室、将棋、工作 など								
合計 (実施回数:69回、延べ参加人数:732人)								
中事業②	放課後学習支援事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	244	R4新規		
事業内容	学習支援が必要な児童に対し、放課後を活用し支援を行う。							
令和4年度の取組と成果								
主な取組	①放課後学習支援事業の実施(講師謝金)……244千円							
実施学校名	実施回数	延利用者	実施学校名	実施回数	延利用者	実施学校数	実施回数	延利用者
加悦小	4	16	三河内小	29	165	合計	合計	合計
岩滝小	31	155	市場小	21	147	6	139	945
石川小	25	404	山田小	29	58			

中事業③	地域学校協働活動推進事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	533	R4新規	
事業内容	地域と学校が連携・協働し、地域全体で子どもたちの成長を支える仕組みとして、学校運営協議会を設置する。また、学校協議会での協議内容を受け、具体的な学校への支援についても地域の協力により可能な範囲で実施する。						
令和4年度の取組と成果							
主な取組	①地域学校協働活動の推進(コーディネーター謝金)・・・533千円						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KSSC(加悦中学校スクールサポート協議会)と加悦中学校との会議(3回)・KSSCと加悦小学校との懇談会(1回)</li> <li>・KSSCによる学校活動のサポート 中学校 廃品回収時の軽トラ提供・作業支援 小学校 ミシンの授業時における地域住民によるサポート</li> <li>・学校運営協議会・地域学校協働活動の広報周知 広報よさの1～3月号で特集記事を掲載</li> </ul>						
中事業④	地域で支える家庭教育支援事業	類型	一般型	中事業事業費(千円)	1,042	R4新規	○
事業内容	児童・保護者等に対し家庭教育アドバイザーが必要な支援を行う。						
令和4年度の取組と成果							
主な取組	①アドバイザーによる児童・保護者への支援・・・1,042千円						
	<p>加悦小学校に家庭教育アドバイザー1名を配置し、加悦地域の児童・保護者に支援を行った。</p> <p>【支援内容】</p> <p>毎週末つばきこども園での登園指導、たよりの発行6回、家庭訪問支援61回、学校での児童支援 こども園・小学校・中学校・教育支援センター等との連携</p>						

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。	○	前年度の水準に留まった。		前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>新たに家庭教育アドバイザーを配置することで、家庭教育支援活動を実施することができた。</p> <p>また、令和5年度から加悦小・中学校に導入予定のコミュニティ・スクールの準備を行うことができた。</p> <p>既存の活動については、コロナ禍ではあるものの、可能な範囲で実施することができた。</p>
大きく向上した。									
向上した。	○								
前年度の水準に留まった。									
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和5年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>加悦小中学校運営協議会を令和5年度に設立予定だが、他自治体の例では、設立が目的化している例もあるように聞いている。そのため、学校運営に資する組織(会議内容)となるように、適切な指導助言を行っていく必要がある。</p> <p>また、加悦地域に続き、野田川・岩滝地域にも学校運営協議会制度を導入予定だが、加悦地域とは地域性が異なっているため、地域の実情に則した組織編成を検討していく必要がある。</p>	<p>加悦小中学校運営協議会の設立に伴い、既存の支援組織であるKSSC(加悦中学校スクールサポート協議会)を中心とした、具体的な支援活動に結びつけていきたい。</p>								



# 主要施策の成果概要

## 【 特別会計編 】

宅地造成事業特別会計 ……	58
下水道特別会計 ……	59
農業集落排水特別会計 ……	62
介護保険特別会計 ……	65
土地取得特別会計 ……	68
国民健康保険特別会計 ……	69
後期高齢者医療特別会計 ……	71
水道事業会計 ……	72



## 【宅地造成事業特別会計】

### (1) 事業費

事業内容	岡田分譲団地で各1区画の売却があり、土地売払収入に計上した。					
決算額	事業費	財源内訳				備考(財源の詳細等)
		国府支出金	起債	その他特財	一般財源	
	4,311			4,311	土地売払収入 4311	
実施事業区分(内容)					事業費	
岡田分譲団地第2区画売買代金 (土地開発基金から買戻し)					4,311	

## 【下水道特別会計】

### (1)維持管理費

事業内容	生活環境保全のため、維持管理を行いました。					
決算額	事業費	財源内訳				備考(財源の詳細等) 預託金 15,000千円
		国府支出金	起債	その他特財	一般財源	
	472,998			15,000	457,998	
実施事業区分(内容)						
【委託料】					事業費	
公共下水道	マンホールポンプ保守点検委託料(6基・小型2基)				おのえ㈱ 2,561	
特環下水道	マンホールポンプ保守点検委託料(43基・小型8基)				おのえ㈱ 18,638	
	既設管渠点検清掃委託料				おのえ㈱ 63	
【負担金、補助及び交付金】						
公共下水道	宮津湾流域下水道排水負担金				京都府 138,642	
特環下水道	宮津湾流域下水道排水負担金				京都府 259,298	
【その他】						
公共下水道					20,811	
特環下水道					32,985	

### (2)事業費

事業内容	公衆衛生の向上を図るため、下水道の整備を行いました。					
決算額	事業費	財源内訳				備考(財源の詳細等) 下水道事業債 82,200千円
		国府支出金	起債	その他特財	一般財源	
	87,416		82,200		5,216	
実施事業区分(内容)						
【調査委託料】					事業費	
特環下水道	石川地区面整備工事家屋調査業務委託料				㈱エイト日本技術開発福知山出張所 1,379	
【工事請負費】						
公共下水道	上水・下水道関連舗装本復旧①工事				金下建設㈱ 369	
	公共樹設置③工事				江笠建材㈱ 1,956	
	公共樹設置⑧工事				㈱鈴木建設 984	
	公共樹設置⑩工事				北丹生コン㈱ 406	
	浜町地区宅内ポンプ設置(その2)工事				㈱柳水道 3,223	
特環下水道	上水・下水道関連舗装本復旧①工事				金下建設㈱ 3,260	
	石川地区面整備①工事				㈱石田建設 31,993	
	公共樹設置①工事				㈱柳水道 1,230	
	公共樹設置②工事				㈱井田建設 865	
	公共樹設置④工事				㈱山田電気商会 1,811	
	公共樹設置⑤工事				㈱鈴木建設 491	
	公共樹設置⑥工事				㈱井田建設 1,261	
	公共樹設置⑦工事				㈱鈴木建設 434	
	公共樹設置⑨工事				㈱井田建設 1,584	
	公共樹設置⑩工事				㈱井田建設 576	
【流域下水道事業費】						
公共下水道	宮津湾流域下水道事業建設費負担金				京都府 11,947	
特環下水道	宮津湾流域下水道事業建設費負担金				京都府 20,145	
【その他】						
公共下水道					442	
特環下水道					3,060	

# 令和4年度 下水道特別会計決算規模等前年度比較表

## 1. 決算規模

項目	歳入			歳出			歳入歳出差引額
	予算額	収入済額	収入未済額	収入済額と 予算額との比較	支出済額	不用額	
年度							
令和4年度	1,600,655,000	1,571,733,247	2,880	△ 28,921,753	1,570,941,438	28,500,000	791,809
令和3年度	1,658,646,000	1,653,790,919	94,809	△ 4,855,081	1,652,812,841	3,257,000	978,078
比較	△ 57,991,000	△ 82,057,672	△ 91,929	△ 24,066,672	△ 81,871,403	25,243,000	△ 1,362,597

## 2. 決算規模内訳

項目	歳入				歳出									
	分担金及び 負担金	使用料及び 手数料	財産収入	繰入金	繰越金	諸収入	町債	合計	総務費	維持管理費	事業費	公債費	災害復旧費	合計
年度														
令和4年度	11,839,028	312,373,660	16,647	932,332,978	978,078	15,292,856	298,900,000	1,571,733,247	16,439,905	472,998,157	87,415,850	994,087,526	0	1,570,941,438
令和3年度	6,567,650	315,971,249	17,729	922,362,962	439,563	15,031,766	393,400,000	1,653,790,919	31,110,293	466,864,363	116,100,490	1,038,737,695	0	1,652,812,841
比較	5,271,378	△ 3,597,589	△ 1,082	9,970,016	538,515	261,090	△ 94,500,000	△ 82,057,672	△ 14,670,388	6,133,794	△ 28,884,640	△ 44,650,169	0	△ 81,871,403

## 3. 受益者分担金及び負担金

年度別	現滞別	現滞別	予算額	調定額	収入済額	不納欠繰額	収入未済額	徴収率(%)
令和4年度	現滞別	現年度分	9,430,000	10,281,960	10,105,910	0	176,050	98.29
		滞納繰越分	1,650,000	7,757,095	1,733,118	0	6,023,977	22.34
		計	11,080,000	18,039,055	11,839,028	0	6,200,027	65.63
令和3年度	現滞別	現年度分	3,422,000	4,398,180	4,380,870	0	17,310	99.61
		滞納繰越分	2,210,000	10,016,925	2,186,780	90,360	7,739,785	21.83
		計	5,632,000	14,415,105	6,567,650	90,360	7,757,095	45.56
比較			5,448,000	3,623,950	5,271,378	△ 90,360	△ 1,557,068	20.07

4. 下水道使用料

年度別	現滞別	予算額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率(%)
令和4年度	現年度分	311,100,000	311,803,162	311,167,295	0	635,867	99.80
	滞納繰越分	755,000	1,531,043	801,865	2,880	726,298	52.37
	計	311,855,000	313,334,205	311,969,160	2,880	1,362,165	99.56
令和3年度	現年度分	314,593,000	315,413,905	314,666,824	0	747,081	99.76
	滞納繰越分	734,000	1,628,636	840,225	4,449	783,962	51.59
	計	315,327,000	317,042,541	315,507,049	4,449	1,531,043	99.52
比較		△ 3,472,000	△ 3,708,336	△ 3,537,889	△ 1,569	△ 168,878	0.04

単位:円

5. 下水道普及状況及び有収水量

年度別	計画区域内人口(A)	処理人口(B)	水洗化人口(C)	人口普及率(B/A)	水洗化率(C/B)	年間有収水量(m <sup>3</sup> )
	(A)	(B)	(C)	(B/A)	(C/B)	
令和4年度	19,046	18,931	15,815	99.4	83.5	1,834,100
令和3年度	19,437	19,296	15,930	99.3	82.6	1,854,071
比較	△ 391	△ 365	△ 115	0.1	0.9	△ 19,971

7. 料金原価

項目	年度		比較増減
	令和4年度 (税込)	令和3年度 (税込)	
使用料原価 =	170.09	170.17	△ 0.08
料収入(使用料) 年間有収水量			
処理原価 =	256.17	247.26	8.91
汚水処理費 年間有収水量			

単位:円

## 【農業集落排水特別会計】

### (1)維持管理費

事業内容	生活環境保全のため、維持管理を行いました。					
決算額	事業費	財源内訳				備考(財源の詳細等)
		国府支出金	起債	その他特財	一般財源	
	9,873				9,873	
実施事業区分(内容)						
【委託料】					事業費	
保守点検委託料					6,158	
【対象施設】奥滝地区 処理施設・マンホールポンプ 1基・宅内ポンプ 2基 温江地区 処理施設・マンホールポンプ 4基・宅内ポンプ 1基						
施設点検清掃委託料(処理施設の汚泥引抜)					876	
【その他】						
その他					2,839	

# 令和4年度 農業集落排水特別会計決算規模等前年度比較表

## 1. 決算規模

項目 年度	予算額	歳入				歳出			歳入歳出差引額	
		調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入済額と 予算額との比較	支出済額	翌年度繰越額		不用額
令和4年度	30,850,000	30,431,421	30,353,461	0	77,960	△ 496,539	30,343,236	0	506,764	10,225
令和3年度	32,645,000	32,530,990	32,446,430	0	84,560	△ 198,570	32,440,613	0	204,387	5,817
比較	△ 1,795,000	△ 2,099,569	△ 2,092,969	0	△ 6,600	△ 297,969	△ 2,097,377	0	302,377	4,408

単位:円

## 2. 決算規模内訳

項目 年度	歳入						歳出					
	分担金及び 負担金	使用料及び 手数料	財産収入	繰入金	繰越金	諸収入	町債	合計	総務費	維持管理費	公債費	合計
令和4年度	6,600	2,175,336	0	26,965,708	5,817	0	1,200,000	30,353,461	527,109	9,872,997	19,943,130	30,343,236
令和3年度	3,000	2,224,281	0	28,311,709	7,440	0	1,900,000	32,446,430	506,778	9,818,043	22,115,792	32,440,613
比較	3,600	△ 48,945	0	△ 1,346,001	△ 1,623	0	△ 700,000	△ 2,092,969	20,331	54,954	△ 2,172,662	△ 2,097,377

単位:円

## 3. 受益者分担金

年度別	現滞別	予算額				徴収率(%)	
		現年度分	滞納繰越分	計	収入済額	不納欠損額	収入未済額
令和4年度	現年度分	1,000	0	0	0	0	0
	滞納繰越分	16,000	84,560	6,600	6,600	77,960	7,817
	計	17,000	84,560	6,600	6,600	77,960	7,817
令和3年度	現年度分	1,000	0	0	0	0	0
	滞納繰越分	16,000	87,560	3,000	3,000	84,560	3,433
	計	17,000	87,560	3,000	3,000	84,560	3,433
比較		0	△ 3,000	3,600	3,600	△ 6,600	4,383

単位:円

4. 排水処理施設使用料

年度別	現滞別	予算額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率(%)
令和4年度	現年度分	2,124,000	2,172,836	2,172,836	0	0	100.00
	滞納繰越分	1,000	0	0	0	0	—
	計	2,125,000	2,172,836	2,172,836	0	0	100.00
令和3年度	現年度分	2,113,000	2,218,481	2,218,481	0	0	100.00
	滞納繰越分	1,000	0	0	0	0	—
	計	2,114,000	2,218,481	2,218,481	0	0	100.00
比	較	11,000	△ 45,645	△ 45,645	0	0	0.00

単位:円

5. 農業集落排水普及状況及び有収水量

年度別	計画区域人口(A)	処理人口(B)	水洗化人口(C)	人口普及率(B/A)	水洗化率(C/B)	年間有収水量(m <sup>3</sup> )
令和4年度	204	204	156	100.0	76.5	13,693
令和3年度	210	210	158	100.0	75.2	14,042
比較	△ 6	△ 6	△ 2	0.0	1.3	△ 349

7. 料金原価

項目	年度	令和4年度 (税込)	令和3年度 (税込)	比較増減
使用料単価＝	料金収入(使用料)	158.68	157.99	0.69
	年間有収水量			
処理原価＝	汚水処理費	721.03	699.19	21.85
	年間有収水量			

単位:円

# 【介護保険特別会計】

## 【福祉課】

### (1) 配食サービス事業

事業内容	日常生活に支障があり食事の支度が困難な高齢者等を対象に、食生活の改善及び健康増進、安否確認を行なうため食事を提供。 1回/1日(月～金曜日)				
決算額	事業費	財源内訳			備考(財源の詳細等)
		国府支出金	起債	その他特財	一般財源
	3,382	1,953		778	651
実施事業区分(内容)					事業費
年間延べ配食数 9,597食(内、高齢者8,911食 障害者613食 同居家族あり73食)					3,382
地域支援事業該当分 1食509円の内(高齢食8,911×@377)+(同居73×@305) ⇒3,381,712円					
年間利用実人数 690人 ※地域支援事業対象外となる調理費、障害利用分については一般会計で負担					

### (2) 認知症対応型共同生活介護事業所の家賃等助成事業

事業内容	グループホーム事業所において、要介護者及び要支援2の認定を受けた者を受け入れ、家賃、食材料費及び光熱水費の費用負担が困難な低所得者に対し利用者負担の軽減を行っている事業者を対象として、予算の範囲内において助成を行うことにより、低所得者の経済的負担を軽減する。				
決算額	事業費	財源内訳			備考(財源の詳細等)
		国府支出金	起債	その他特財	一般財源
	3,305	1,908		761	636
実施事業区分(内容)					事業費
1日700円減額10名 400円減額14名					3,305
法人別	有限会社ジェイズ	477,300円			
	株式会社きずなケアサービス	2,192,900円			
	株式会社うえもり	634,600円			

### (3) 生きがいデイサービス事業

事業内容	家に閉じこもりがちな高齢者及び要介護状態になるおそれのある高齢者に対し、通所によるサービスを提供し、高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態になることの予防を図ることを目的として行なう事業。与謝野町社会福祉協議会に事業を委託。レクリエーション・講話・外出・体操・手芸・料理等が実施されている。 平成29年度から、1回あたり1人100円の利用料を徴収。				
決算額	事業費	財源内訳			備考(財源の詳細等)
		国府支出金	起債	その他特財	一般財源
	4,617	3,068		988	561
実施事業区分(内容)					事業費
事業委託料 4,617千円					4,617
※サロン利用料 129,000円については、介護保険特別会計へ(雑入)					
サロン総数22か所(加悦8、岩滝6、野田川7)					
延べ回数221回。延べ人数1,290人					

(4) 安心生活見守り事業

事業内容	ひとり暮らしの高齢者、高齢者世帯の方や重度心身障害者等の、住み慣れた地域における継続した生活を支援するため、事業者が実施する緊急・相談通報装置を利用して、急病、事故等の緊急時における迅速かつ適切な対応、日常における健康相談に対する助言等を行なう事業。				
決算額	事業費	財源内訳			備考(財源の詳細等)
	783	国府支出金 452	起債	その他特財 180	一般財源 151
地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)(国・府・町)					
実施事業区分(内容)					事業費
利用者23人(R5.3月末 前年度末比 増減なし) 総合警備保障社と契約し、高齢者からの緊急通報の対応、セキュリティの駆けつけ、健康相談等のサービスを委託。 自己負担額:非課税世帯の方500円、課税世帯の方750円					783

(5) 認知症総合的支援事業

事業内容	対応が急がれる認知症者の増加への対策について、認知症の正しい理解の浸透や支援体制の構築、認知症者及び地域の方との交流や急性期の方への迅速な対応を行うべく、各種の取組を実施。				
決算額	事業費	財源内訳			備考(財源の詳細等)
	2,712	国府支出金 1,566	起債	その他特財 624	一般財源 522
地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)(国・府・町)					
実施事業区分(内容)					事業費
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症サポーター養成講座・・・研修を受けたキャラバンメイトが講師となり、学生や企業、一般住民に対して認知症についての正しい理解、正しい対応について講座を行う。令和4年度 309名受講</li> <li>・ 認知症地域支援推進員活動・・・若年性認知症の方やご家族を対象にした認知症カフェの開催や認知症啓発活動等、町の認証施策全般について協力を得ている。</li> <li>・ 認知症ケア向上推進事業費補助金・・・ <ul style="list-style-type: none"> <li>● 認知症者や認知症初期の方、認知症を予防したい方や家族、地域の方の交流の場とする。実施団体に事業費補助。10事業所、12箇所で開催し、総額2,485千円補助金支出</li> <li>● 当事者(本人、家族)のための認知症カフェの開催 新型コロナ感染拡大防止により開催を中止した。</li> </ul> </li> <li>・ 認知症初期集中支援チーム活動・・・初期の認知症と訴えのあった方に対し、訪問・審議により自立生活のサポートを行う。支援対象ケース累計32事例。 (サポーター分73千円、認知症地域支援・ケア向上事業分2,539千円、認知症初期集中支援推進事業分100千円)</li> </ul>					2,712

【福祉課・保健課】

(1)介護予防・日常生活支援総合事業（生きがいデイサービス事業再掲）

事業内容	介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、介護予防に効果的な運動機能向上プログラムに特化したサービスを緩和型通所Aとして実施し、趣味活動等を通じた居場所づくりとして緩和型通所Bの実施、シルバー人材センターを活用した緩和型ヘルパーサービスを緩和型訪問Aをとして実施（保険給付費による介護予防通所サービス・介護予防訪問サービスがこのように移行）及び一般高齢者対象の介護予防事業も実施。																													
決算額	事業費	財源内訳				備考（財源の詳細等）																								
		国府支出金	起債	その他特財	一般財源																									
	131,643	89,913		25,291	16,439	地域支援事業交付金(介護予防事業)(国・府・支払基金・町)																								
実施事業区分（内容）						事業費																								
<ul style="list-style-type: none"> <li>●従来型訪問サービス・・・総給付費 10,897,256円</li> <li>●従来型通所サービス・・・総給付費 105,238,307円</li> </ul>						131,643																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">●訪問型サービス(緩和型)事業</th> <th style="width: 10%;">回数</th> <th style="width: 15%;">実利用者数</th> <th style="width: 15%;">延利用回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮津与謝シルバー人材センター</td> <td style="text-align: center;">概ね週1回</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">498</td> </tr> </tbody> </table>						●訪問型サービス(緩和型)事業	回数	実利用者数	延利用回数	宮津与謝シルバー人材センター	概ね週1回	12	498																	
●訪問型サービス(緩和型)事業	回数	実利用者数	延利用回数																											
宮津与謝シルバー人材センター	概ね週1回	12	498																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">●通所型サービス(緩和型)事業</th> <th style="width: 10%;">回数</th> <th style="width: 15%;">実参加者数</th> <th style="width: 15%;">延参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>COCO トレ(緩和型A)</td> <td style="text-align: center;">概ね週1回</td> <td style="text-align: center;">22</td> <td style="text-align: center;">776</td> </tr> <tr> <td>すこやか体操教室(緩和型A)</td> <td style="text-align: center;">週1回</td> <td style="text-align: center;">22</td> <td style="text-align: center;">801</td> </tr> <tr> <td>岩滝あじさい苑 ひより(緩和型A)</td> <td style="text-align: center;">週1回</td> <td style="text-align: center;">21</td> <td style="text-align: center;">787</td> </tr> <tr> <td>花鈴(緩和型B)</td> <td style="text-align: center;">週1回</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>						●通所型サービス(緩和型)事業	回数	実参加者数	延参加者数	COCO トレ(緩和型A)	概ね週1回	22	776	すこやか体操教室(緩和型A)	週1回	22	801	岩滝あじさい苑 ひより(緩和型A)	週1回	21	787	花鈴(緩和型B)	週1回	0	0					
●通所型サービス(緩和型)事業	回数	実参加者数	延参加者数																											
COCO トレ(緩和型A)	概ね週1回	22	776																											
すこやか体操教室(緩和型A)	週1回	22	801																											
岩滝あじさい苑 ひより(緩和型A)	週1回	21	787																											
花鈴(緩和型B)	週1回	0	0																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">●普及啓発事業</th> <th style="width: 10%;">回数</th> <th style="width: 15%;">実参加者数</th> <th style="width: 15%;">延参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75歳教室</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">68</td> </tr> <tr> <td>運動サポーター活動支援事業</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>チャレンジウォーキング事業</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>ふれあい元気づくりの日</td> <td style="text-align: center;">33</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td style="text-align: center;">211</td> </tr> <tr> <td>サロン・出前講座</td> <td style="text-align: center;">34</td> <td style="text-align: center;">290</td> <td style="text-align: center;">290</td> </tr> </tbody> </table>						●普及啓発事業	回数	実参加者数	延参加者数	75歳教室	6	13	68	運動サポーター活動支援事業	0	0	0	チャレンジウォーキング事業	0	0	0	ふれあい元気づくりの日	33	25	211	サロン・出前講座	34	290	290	
●普及啓発事業	回数	実参加者数	延参加者数																											
75歳教室	6	13	68																											
運動サポーター活動支援事業	0	0	0																											
チャレンジウォーキング事業	0	0	0																											
ふれあい元気づくりの日	33	25	211																											
サロン・出前講座	34	290	290																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">●地域介護予防活動支援事業</th> <th style="width: 10%;">回数</th> <th style="width: 15%;">実参加者数</th> <th style="width: 15%;">延参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ふれあいサロン(生きがいデイサービス)</td> <td style="text-align: center;">221</td> <td style="text-align: center;">187</td> <td style="text-align: center;">1,290</td> </tr> </tbody> </table>						●地域介護予防活動支援事業	回数	実参加者数	延参加者数	ふれあいサロン(生きがいデイサービス)	221	187	1,290																	
●地域介護予防活動支援事業	回数	実参加者数	延参加者数																											
ふれあいサロン(生きがいデイサービス)	221	187	1,290																											

## 【土地取得特別会計】

### (1)土地開発基金繰出金(積立金)

事業内容	土地開発基金の預金利子積立					
決算額	事業費	財源内訳			備考(財源の詳細等)	
		国府支出金	起債	その他特財		一般財源
	47			47	0	預金利子 50
実施事業区分(内容)						
土地開発基金積立金(利子相当分)					47	

## 【国民健康保険特別会計】

### (1) 保険給付費

事業内容	国保被保険者の診療費にかかる保険給付。 国保広域化により、支出した保険給付費については京都府から保険給付費等交付金(普通交付金)が交付される。(ただし、出産育児一時金、葬祭費、精神・結核医療付加金、手数料を除く。)					
決算額	事業費	財源内訳				備考(財源の詳細等) ・保険給付費等交付金(普通交付金)1,673,121 ・出産育児分繰入金 1,400
	1,686,132	国府支出金 1,673,121	起債 0	その他特財 1,400	一般財源 11,611	
実施事業区分(内容)						事業費
出産育児一時金 @420,000円×5人						2,100
葬祭費 50,000円×41人						2,050
精神・結核医療付加金 1,941件						1,559
傷病手当金 3件						108
手数料 審査支払手数料3,468千円、電算処理手数料360千円、出産育児一時金手数料1千円						3,829
【国保加入状況】						
被保険者数(平均) 4,675人(前年4,970人)						
世帯数(平均) 2,989世帯(前年3,125世帯)						
【保険給付費の状況】						
		R3年度	R4年度	伸び率		
一般被保険者療養給付費		1,479,987	1,465,779	-1.0%		
退職被保険者療養給付費		0	0	-		
一般被保険者療養費		11,667	8,899	-23.7%		
退職被保険者療養費		0	0	-		
一般被保険者高額療養費		204,866	201,808	-1.5%		
退職被保険者高額療養費		0	0	-		
一般被保険者高額介護合算療養費		0	0	-		
退職被保険者高額介護合算療養費		0	0	-		
計		1,696,520	1,676,486	-1.2%		
						1,676,486

### (2) 国保事業費納付金

事業内容	国保広域化に伴う納付金で京都府へ納付。 京都府が国保運営するための費用から、国庫補助金等を差引いた必要額を市町村ごとに配分する。 納付金の算定にあたり、「医療費の高い市町村は高く、低い市町村は低く」、「所得の高い市町村は高く、低い市町村は低く」といった調整がなされている。					
決算額	事業費	財源内訳				備考(財源の詳細等) ・保険給付費等特別交付金 保険者努力支援分 7,911 特別調整交付金分 経営努力経過措置分 3,000 京都府繰入金 経営評価交付分 31,786 ・保健基盤安定繰入金 118,854 ・未就学児均等割保険料繰入金 857 ・財政安定化支援繰入金 10,541
	585,199	国府支出金 42,697	起債 0	その他特財 130,252	一般財源 412,250	
実施事業区分(内容)						事業費
(医療給付分) 一般被保険者医療給付分						386,252
退職被保険者等医療給付分						132
(後期高齢者支援金等分) 一般被保険者後期高齢者支援金等分						137,987
退職被保険者等後期高齢者支援金等分						46
(介護納付金分) 介護納付金分						60,782

## (3) 保健事業費

事業内容	病気の早期発見、健康に対する意識の啓発を図るため、人間ドック検査費用の助成を実施した。また、国保被保険者を対象に特定健診・特定保健指導の実施、調整交付金の助成により、各種保健事業を実施している。				
決算額	事業費	財源内訳			備考(財源の詳細等)
	34,505	国府支出金 8,673	起債 0	その他特財 1,209	一般財源 24,623
					・保険給付費等交付金(特別交付金) 京都府繰入金 保健事業分 1,361 特定健診等負担金 7,312 ・保健事業分繰入金 1,209
実施事業区分(内容)					事業費
イ. 特定健診等事業費	健診委託費、職員給与 特定健診受診者数(30歳代33人の国保も含む) 1,566人 特定保健指導積極的支援実施者数 9人 特定保健指導動機付支援実施者数 69人 国保保健事業 ・からだすっきり講座 6回 実人数13人 延人数66人 ・糖尿病腎症重症化予防事業 未受診者対策 15人 中断者対策 3人 特定健診結果相談会 4回 利用者16人				21,715
ロ. 保健衛生普及費	がん検診委託料、審査手数料 大腸がん検診 1,330人 前立腺がん検診 473人				3,676
ハ. 人間ドック検査料	利用者数 201人(前年212人)				9,114

## (4) 国保直営診療所事業費

事業内容	地域住民に親しまれ、信頼される診療所を基本理念とし、近隣の医療機関との連携を図っている。また、コロナ禍においても住民が安心・安全に暮らせるよう、発熱者等の外来診療や検査を行う「診療・検査医療機関」として、また、新型コロナウイルスワクチン接種を率先して実施するなど公的医療機関としての責務を果たす事業を実施。																								
決算額	事業費	財源内訳			備考(財源の詳細等)																				
	82,613	国府支出金	起債	その他特財	一般財源 82,613																				
実施事業区分(内容)					事業費																				
<b>■受診状況</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保険点数収入(千円)</td> <td>44,512</td> <td>44,961</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>一部負担金収入(千円)</td> <td>6,150</td> <td>6,499</td> <td>5.7%</td> </tr> <tr> <td>医療事業費(千円)</td> <td>5,265</td> <td>5,897</td> <td>12.0%</td> </tr> <tr> <td>延べ患者数(人)</td> <td>10,276</td> <td>10,627</td> <td>3.4%</td> </tr> </tbody> </table>						R3年度	R4年度	比較	保険点数収入(千円)	44,512	44,961	1.0%	一部負担金収入(千円)	6,150	6,499	5.7%	医療事業費(千円)	5,265	5,897	12.0%	延べ患者数(人)	10,276	10,627	3.4%	5,896
	R3年度	R4年度	比較																						
保険点数収入(千円)	44,512	44,961	1.0%																						
一部負担金収入(千円)	6,150	6,499	5.7%																						
医療事業費(千円)	5,265	5,897	12.0%																						
延べ患者数(人)	10,276	10,627	3.4%																						
<b>■訪問リハビリテーション</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給付費収入(千円)</td> <td>12,409</td> <td>12,972</td> <td>4.5%</td> </tr> <tr> <td>自己負担金収入(千円)</td> <td>1,248</td> <td>1,308</td> <td>4.8%</td> </tr> <tr> <td>リハビリ事業費(千円)</td> <td>612</td> <td>436</td> <td>-28.8%</td> </tr> <tr> <td>延べ訪問者数(人)</td> <td>827</td> <td>854</td> <td>3.3%</td> </tr> </tbody> </table>						R3年度	R4年度	比較	給付費収入(千円)	12,409	12,972	4.5%	自己負担金収入(千円)	1,248	1,308	4.8%	リハビリ事業費(千円)	612	436	-28.8%	延べ訪問者数(人)	827	854	3.3%	436
	R3年度	R4年度	比較																						
給付費収入(千円)	12,409	12,972	4.5%																						
自己負担金収入(千円)	1,248	1,308	4.8%																						
リハビリ事業費(千円)	612	436	-28.8%																						
延べ訪問者数(人)	827	854	3.3%																						
<b>■その他</b> 職員人件費、会計年度任用職員報酬、光熱水費ほか					76,281																				

## 【後期高齢者医療特別会計】

### (1) 後期高齢者医療広域連合納付金

事業内容	京都府後期高齢者医療広域連合へ納付する負担金					備考(財源の詳細等)		
決算額	事業費	財源内訳						
		国府支出金	起債	その他特財	一般財源			
	335,676	0	0	335,676	0	一般会計繰入金 114,673 保険基盤安定負担金(府) 80,168 保険基盤安定負担金(町) 26,723 後期高齢者医療広域連合分賦金(町) 7,783 保険料及び延滞金 221,002		
実施事業区分(内容)								
【後期高齢者医療保険料】(R4・R5年度)								
・所得割率 10.46 %								
・均等割額 53,420 円								
【被保険者数】(令和5年3月31日現在)								
単位: 人								
被保険者数	4,409	現役並み(再掲)			一般(再掲)		低所得(再掲)	
		3割負担			2割負担	1割負担		
		Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ
		10	28	86	404	1,644	1,565	672
(再掲)被扶養者であった被保険者数	61	0	0	0	4	41	14	2

## 【水道事業会計】

### (1) 拡張改良費

事業内容	基幹管路の耐震化のため、導水管布設替を行った。 老朽化したポンプ設備等の更新並びに、水道施設台帳整備業務委託を行った。						
決算額	事業費	財源内訳				備考（財源の詳細等）	
		国府支出金	起債	その他特財	一般財源		
	27,538	5,469	4,600	0	17,469	・ 過年度分損益勘定留保資金 13,909 ・ 消費税資本的収支調整額 3,560	
実施事業区分（内容）						事業費	
算所導水管5号布設替工事						株式会社 丸正組	7,543
与謝浄水場前処理ろ過設備表洗ポンプ取替工事						テラル 株式会社 大阪支店	947
算所浄水場2号中次亜注入ポンプ更新工事						桐田機工 株式会社	880
四辻浄水場1号送水電動仕切弁更新工事						桐田機工 株式会社	2,706
三河内浄水場3号井取水ポンプ更新工事						テラル 株式会社 大阪支店	777
与謝浄水場前処理ろ過設備表洗ポンプ取替工事						株式会社 ジャパンオール	1,619
上山田第2浄水場1号1次ろ過ポンプ更新工事						テラル 株式会社 大阪支店	1,243
上山田第2浄水場1号2次PAC注入ポンプ更新工事						桐田機工 株式会社	913
算所5号井取水ポンプ更新工事						テラル 株式会社 大阪支店	1,144
水道施設台帳整備業務委託						株式会社 新大阪エンジニアリング福知山事務所	9,020
水道施設台帳システムサービス提供業務委託						株式会社 J E C C	746

### (2) 配水管事業費

事業内容							
決算額	事業費	財源内訳				備考（財源の詳細等）	
		国府支出金	起債	その他特財	一般財源		
	14,961	0	0	0	14,961	過年度分損益勘定留保資金 14,961	
実施事業区分（内容）						事業費	
府道宮津養父線切削舗装工事						金下建設 株式会社	483
黄金線配水管布設替工事						株式会社 三野工務店	9,618
大池線配水管布設替工事						株式会社 アイフル	4,860

## 令和4年度 水道事業会計決算規模等前年度比較表

### 1. 決算規模

(1) 収益の収支

単位:円

項目 年度	収 益 的 収 入			収 益 的 支 出			
	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	予 算 額	決 算 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
令和4年度	794,562,000	791,175,595	△ 3,386,405	716,916,000	736,622,753	0	△ 19,706,753
令和3年度	827,266,000	823,557,830	△ 3,708,170	770,060,000	760,002,398	0	10,057,602
比 較	△ 32,704,000	△ 32,382,235	321,765	△ 53,144,000	△ 23,379,645	0	△ 29,764,355

(2) 資本の収支

単位:円

項目 年度	資 本 的 収 入			資 本 的 支 出			
	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	予 算 額	決 算 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
令和4年度	576,319,000	176,569,400	△ 399,749,600	820,427,200	415,636,824	403,022,000	1,768,376
令和3年度	255,476,000	190,785,127	△ 64,690,873	564,256,000	498,946,246	18,130,200	47,179,554
比 較	320,843,000	△ 14,215,727	△ 335,058,727	256,171,200	△ 83,309,422	384,891,800	△ 45,411,178

### 2. 決算規模内訳

(1) 収益の収入

単位:円

項目 年度	水 道 事 業 収 益								合 計
	営 業 収 益		営 業 外 収 益						
	給水収益	その他の 営業収益	受取利息	雑 収 益	他 会 計 補 助 金	長期前受金 戻 入	資本費繰入 収 入		
令和4年度	375,605,013	3,042,597	126,983	14,000	131,245,874	118,033,128	163,108,000	791,175,595	
令和3年度	449,571,854	2,960,575	266,742	4,450	81,265,651	128,342,231	161,146,327	823,557,830	
比 較	△ 73,966,841	82,022	△ 139,759	9,550	49,980,223	△ 10,309,103	1,961,673	△ 32,382,235	

(2) 収益の支出

単位:円

項目 年度	水 道 事 業 費 用									
	営 業 費 用					営 業 外 費 用			特別損失	合 計
	原水及び 浄水費	配水及び 給水費	総 係 費	減価償却費	資産減耗費	支払利息	雑 支 出	消 費 税	過年度損益 修 正 損	
令和4年度	127,958,102	42,599,034	42,676,355	374,162,730	3,185,480	91,327,879	15,325,181	39,094,400	309,574	736,638,735
令和3年度	128,875,697	46,428,792	40,914,532	392,071,963	857,951	98,576,649	17,157,302	33,624,700	914,812	759,422,398
比 較	△ 917,595	△ 3,829,758	1,761,823	△ 17,909,233	2,327,529	△ 7,248,770	△ 1,832,121	5,469,700	△ 605,238	△ 22,783,663

(3) 資本の収入

単位:円

項目 年度	資 本 的 収 入				
	企 業 債	分 担 金	繰 入 金	補 助 金	合 計
	企 業 債	分 担 金	他 会 計 繰 入 金	府補助金	
令和4年度	4,600,000	3,392,400	163,108,000	5,469,000	176,569,400
令和3年度	0	2,054,800	162,165,327	26,565,000	190,785,127
比 較	4,600,000	1,337,600	942,673	△ 21,096,000	△ 14,215,727

(4) 資本の支出

単位:円

項目 年度	資 本 的 支 出				
	建 設 改 良 費			企 業 債 償 還 金	合 計
	拡 改 良 費	配 水 管 事 業 費	資 取 得 費	企 業 債 償 還 金	
令和4年度	27,537,400	14,960,100	60,280	373,079,044	415,636,824
令和3年度	112,032,800	16,522,000	97,900	370,293,546	498,946,246
比 較	△ 84,495,400	△ 1,561,900	△ 37,620	2,785,498	△ 83,309,422

### 3. 給水収益

単位:円

年度別	現滞別	予算額	調定額	収入額	不納欠損額	未収金	徴収率 (%)
令和4年度	現年度分	372,690,000	375,605,013	356,199,942	0	19,405,071	94.83
	滞納繰越分	—	37,501,813	36,020,783	29,569	1,451,461	96.05
	計	—	413,106,826	392,220,725	29,569	20,856,532	94.94
令和3年度	現年度分	451,679,000	449,571,854	413,725,015	0	35,846,839	92.03
	滞納繰越分	—	38,662,510	36,659,171	317,206	1,686,133	94.82
	計	—	488,234,364	450,384,186	317,206	37,532,972	92.25
比較	現年度分	△ 78,989,000	△ 73,966,841	△ 57,525,073	0	△ 16,441,768	2.81
	滞納繰越分	—	△ 1,160,697	△ 638,388	△ 287,637	△ 234,672	1.23
	計	—	△ 75,127,538	△ 58,163,461	△ 287,637	△ 16,676,440	2.70

### 4. 業務量

項目 年度	給水人口 (人)	年間 総配水量 (m <sup>3</sup> )	年間 総有収水量 (m <sup>3</sup> )	有収率 (%)
令和4年度	19,997	2,477,533	2,175,122	87.79
令和3年度	20,414	2,475,586	2,245,484	90.71
比較	△ 417	1,947	△ 70,362	△ 2.92

### 5. 料金原価

単位:円

年度	項目	供給単価 ※1	給水原価 ※2	比較
令和4年度	税込	172.68	284.26	△ 111.58
	税抜	156.98	263.05	△ 106.07
令和3年度	税込	200.21	280.64	△ 80.43
	税抜	182.01	259.85	△ 77.84
比較	税込	△ 27.53	3.62	△ 31.15
	税抜	△ 25.03	3.20	△ 28.23

※1

給水収益(調定額)

$$\text{供給単価} = \frac{\text{給水収益(調定額)}}{\text{年間総有収水量}}$$

※2

営業費用+営業外費用-長期前受金戻入

$$\text{給水原価} = \frac{\text{営業費用+営業外費用-長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$$